

# KAWAI

## DIGITAL PIANO CN340GP 取扱説明書

ご使用前の準備

ピアノを演奏する

様々な機能を楽しむ

演奏を録音再生する

USBメモリーを使う

様々な設定を操作する

付録

このたびは、KAWAIデジタルピアノCN340GPをご購入  
くださいます、誠にありがとうございます。  
本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いた  
だくためにも、この取扱説明書をよくお読みになり、  
大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

## ■ 付属品(お確かめ下さい)

---

- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 保証書                   | <input type="checkbox"/> 電源コード    |
| <input checked="" type="checkbox"/> 取扱説明書(本書)  | <input type="checkbox"/> ヘッドホン    |
| <input type="checkbox"/> カワイデジタルピアノ ユーザー登録のご案内 | <input type="checkbox"/> ヘッドホンフック |
| <input type="checkbox"/> クラシカルピアノコレクション(楽譜集)   | <input type="checkbox"/> スタンド組立図  |
| <input type="checkbox"/> 木製高低自在椅子              |                                   |

# はじめに

## ■ 取扱説明書について

はじめに、取扱説明書(本書)の「ご使用前の準備」(8ページ)からお読みください。各部の名称と機能や、電源コードの接続や電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、CN340GPをすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録にはCN340GPの組立方法や音色一覧などの資料を見ることができます。

## ■ 表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、[ ]で囲まれた文字は、ボタン名を表し、[コンサートピアノ]ボタンのように表記します。

## ■ 本製品の特徴

### 本格的なピアノタッチを実現

弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地と優れた連打性能を備えたレスポンス・ハンマー・アクションII (RH II) 鍵盤を搭載。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合いを備えた象牙調仕上げ(アイボリータッチ)により、汗がついても滑りにくく心地よいタッチの感触が得られます。また、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を再現するレットオフフィールも搭載、細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

### カワイコンサートグランドピアノEXの音を余すことなく再現する、『88鍵ステレオサンプリング』

世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用したカワイコンサートグランドピアノEXの音から、88個の鍵盤一つ一つを丁寧に録音した秀逸のピアノ音を搭載、弱打から強打までのスムーズな音色変化や、和音の濁りが少なく減衰に伸びのあるリアルなピアノ音を再現することに成功しました。

また、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きを再現した「新ダンパーレゾナンス」や、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現した「ストリングレゾナンス」など、グランドピアノの音の響きをディテールまで表現する性能を備えています。

### グランドピアノのペダルの踏み心地を再現する、『Grand Feel Pedal System』

CN340GPは、新開発の「グランドフィールペダルシステム」を搭載しています。グランドピアノに3本あるペダル「ダンパーペダル/ソステヌートペダル/ソフトペダル」これら全てのペダルの踏み心地を忠実に再現、グランドピアノに大きく近づきました。(ダンパー・ペダルは、ハーフペダルに対応しています。)

### 簡単に、お好みのピアノの状態へ調整可能な『コンサートチューナー』

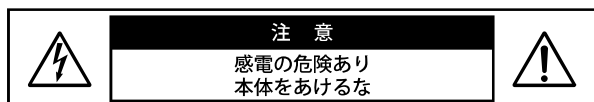
CN340GPは、調律師が行う様々なピアノの調整を簡単に行う事が出来る「コンサートチューナー」機能を搭載しています。ダンパーペダル時の共鳴音(ダンパーレゾナンス)の音量や、グランドピアノで鍵盤が戻る時に発生する特有の音(キーアクションノイズ、キーオフエフェクト)の音量調整が可能です。これらの設定は、本体に保存することによりいつでも再現することが可能です。

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

## ■ 製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店または同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」にある、お近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

## ■ 警告と注意、記号表示について

**警告**  
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

**注意**  
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。

⊘記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。

●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

## 警告

**電源は必ずAC100Vを使う**  
電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

**付属の電源コードは本機でのみ使用する**  
付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

**電源コードを熱器具に近付れたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけない**  
コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



**本機を分解、修理、改造しない**



**この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない**

故障・感電・発火の原因になります。



**水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因になります。



**異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く**





異物を入れない

**本機の内部に異物を入れないようにする**  
水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



落とさない

**本機を落としたり、強い衝撃を加えない**  
怪我および破損の恐れがあります。



**照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない。**



使用禁止

**本機を次のような所では使用しない**

- ・窓際など直射日光の当たる場所
  - ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
  - ・戸外など極端に温度の低い場所
  - ・極端に湿度の高い場所
  - ・砂やホコリの多い場所
  - ・振動の多い場所
- 故障の原因になります。

## ⚠ 注意



コードを引かない

**電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く**

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



プラグを抜く

**落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く**

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。



電源を切る

**コード類を接続するときは、各機器の電源を切つて行う**

本機や接続機器の故障の原因になります。



指をはさまれないよう注意

**鍵盤蓋で指などははさまないように注意する**  
鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。



**持ち運びは2人で行う**



**電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく**

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。



上に乗らない

**本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない**

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



使用しない

**イスは次のように使用しない**

- ・イスを不安定な場所に置かない
  - ・イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない
  - ・イスには2人以上で座らない
  - ・イスに座ったまま高さ調節をしない(調節機能付きの場合)
  - ・ネジの緩んだイスに座らない
- イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



**不安定な場所に置かない**

怪我や破損の恐れがあります。



**タコ足配線禁止**



**ヘッドホンは大音量で長時間使用しない**

聴力低下の原因になる恐れがあります。

## ■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります(ゴールドのペダルのみ)。サビ落とし用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない	色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

\* お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

## ■ 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

## ■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

# 目次

はじめに	3
安全上のご注意	4
目次	6

## ご使用前の準備

各部の名称とはたらき	8
電源を入れる / アジャスターの調整	10
鍵盤蓋を開ける / 閉める	11
譜面立てを利用する	11
音量を調整する / ヘッドホンを使う	12

## ピアノを演奏する

いろいろな音色を楽しむ	13
ペダルを使う	14
2つの音色を重ねる(デュアル)	15
2つの音色を並べる(スプリット)	17
連弾演奏する(4ハンズモード)	19
音に効果を加える	21
1 リバーブ	21
2 エフェクト	23
パネル・ロック	25
タッチカーブ	26
移調する(トランスポーズ)	27
メトロノームを使う	29

## 様々な機能を楽しむ

音色デモ曲を聴く	31
クラシカルピアノコレクションを聴く	32
リスニングコレクションを聴く	33
レッスン機能を楽しむ	34
1 練習したい曲を選ぶ	34
2 練習曲を聴く	35
3 片手で練習する / テンポを変更する	36
4 練習曲に合わせて録音する	37

## 演奏を録音再生する

Int.(内部ソング)レコーダー	38
1 本体のメモリーに録音する	38
2 内部ソングを聴く	40
3 録音済みのパートを消去する	42
USBレコーダー	43
1 オーディオファイルを録音する	43
2 オーディオファイルを聴く	45
3 MIDIファイルを聴く	47
4 内部ソングをオーディオファイルにする	49
5 USBメモリー内のファイルを消去する	50

## USBメモリーを使う

USBメモリーの接続	51
USBメニューについて	52
1 内部ソングをロードする	53
2 SMF(MIDIファイル)形式で保存する	54
3 内部ソング形式で保存する	55
4 ファイル名を変更する	56
5 ファイルを消去する	57
6 フォーマット(初期化)する	58

## 様々な設定を操作する

設定メニューについて	59
ベーシックセッティング	60
1-1 全体の音質を変える(イコライザー)	61
1-2 スピーカー音量	63
1-3 ヘッドホン音量	64
1-4 ラインアウト音量	65
1-5 オーディオ録音レベル	66
1-6 チューニング	67
1-7 ダンパーホールドのON/OFF	68
1-8 4ハンズモードのON/OFF	69
1-9 ユーザーメモリーの使い方	70
1-10 ファクトリーリセットの使い方	71
1-11 表示言語の設定	71

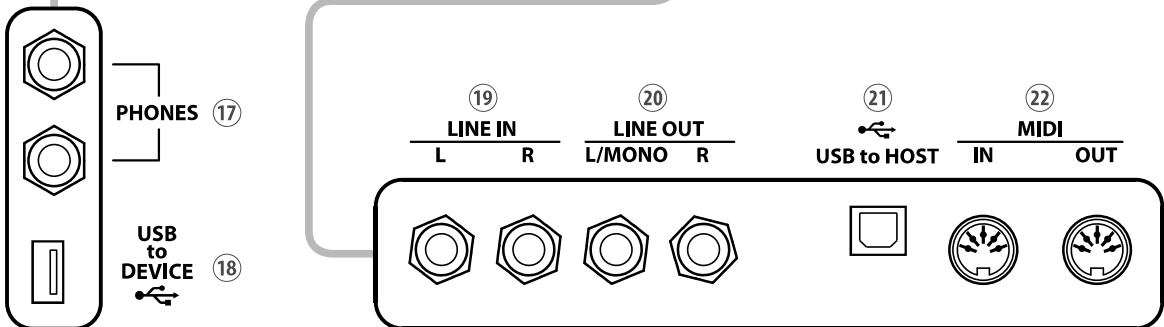
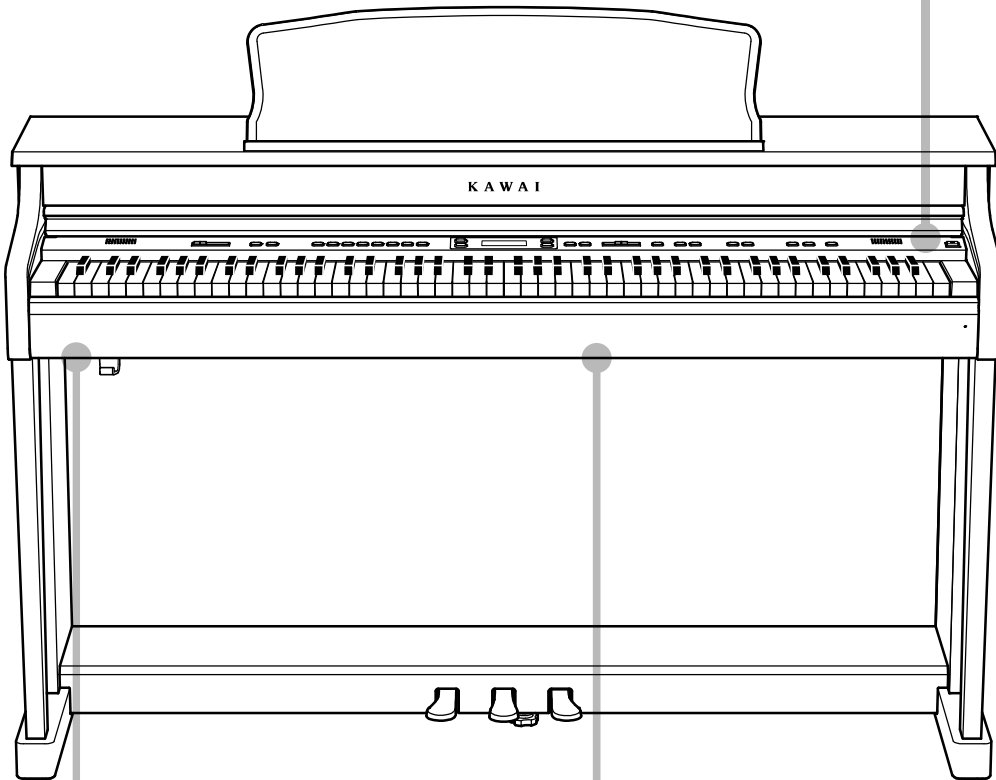
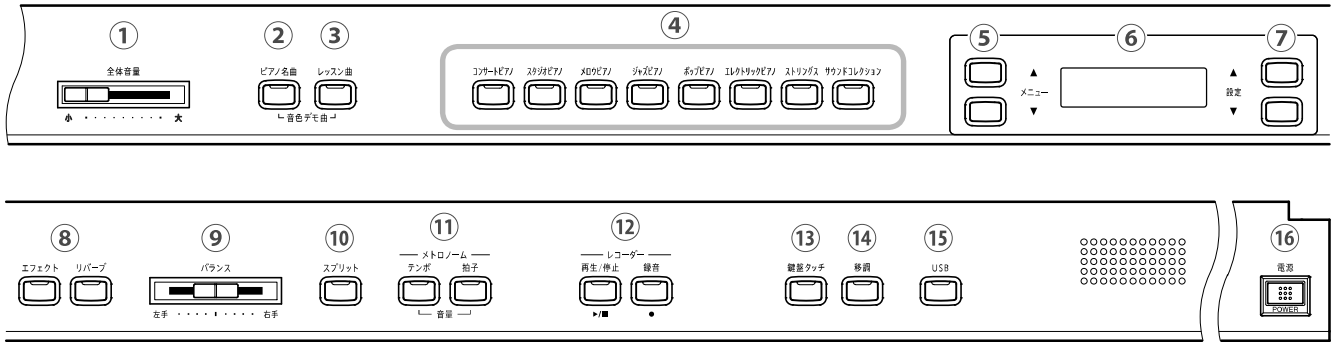
## 様々な設定を操作する

コンサートチューナー.....	72
2-1 ダンパーレゾナンス .....	73
2-2 スtringレゾナンス.....	74
2-3 キーオフエフェクト .....	75
2-4 キーアクションノイズ.....	76
2-5 音律の設定 .....	77
2-6 音律の主音の設定.....	78
キーセッティング .....	79
3-1 ローオクターブシフト.....	80
3-2 ローペダルのON/OFF.....	81
3-3 レイヤーオクターブシフト .....	82
3-4 レイヤーダイナミクス.....	83
MIDIセッティング.....	84
MIDIについて .....	84
4-1 MIDI送受信チャンネル.....	86
4-2 プログラムナンバー送信.....	87
4-3 ローカルコントロール.....	88
4-4 プログラムナンバー送信のON/OFF ...	89
4-5 マルチティンバーモード.....	90
チャンネルミュート .....	91
USB MIDIについて (to HOST端子) .....	92
電源オン/オフの設定.....	93
5-1 電源セッティング.....	93

## 付録

他の機器との接続 .....	94
困ったときは? .....	95
音色デモ曲一覧.....	96
クラシカルピアノコレクション曲一覧 .....	97
リスニングコレクション/レッスン曲集一覧... ..	98
各音色に対応する 送受信プログラムナンバー一覧.....	99
リズム一覧.....	100
CN340GPの組み立て方.....	101
CN340GP仕様.....	104
MIDIエクスクルーシブデータ一覧.....	105
MIDIインプリメンテーションチャート .....	106

# 各部の名称とはたらき



## ① [全体音量] スライダー

内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

※ラインアウトには効きません。PA機器等に接続して使用する場合、ラインアウトの音量はそのままに内蔵スピーカーの音量を調節できます。ラインアウトの音量変更については65ページを参照してください。

## ② [ピアノ名曲] ボタン

クラシカルピアノコレクションモード及びリスニングコレクションモードに入る際に使用します。

## ③ [レッスン曲] ボタン

レッスンモードに入る際に使用します。

## ④ 音色ボタン

音色を選択するボタンです。1つの音色ボタンに、複数の音色が割り当てられており、再度同じボタンを押すことで他の音色が選べます。

押されたボタンに赤のランプが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

## ⑤ [メニュー] ボタン

設定や機能の設定など様々な場面で使用します。

## ⑥ ディスプレイ

音色名を表示したり、いろいろな機能を使うときに値や状態などを表示したりします。

※ディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてありますので、はがしてからご使用ください。

## ⑦ [設定] ボタン

表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へ移動したり、値の変更など様々な場面で使用します。

## ⑧ [エフェクト]/[リバーブ] ボタン

エフェクト、リバーブ機能の選択、またはオン/オフを設定します。

## ⑨ [バランス] スライダー

デュアル演奏、スプリット演奏などの際に使用し、音のバランスを調整します。

## ⑩ [スプリット] ボタン

スプリット演奏、4ハンズモード(連弾演奏)を使う際に使用します。

## ⑪ [テンポ]/[拍子] ボタン

メトロノーム音を鳴らしたり、テンポ設定を変更することができます。

## ⑫ [再生/停止]/[録音] ボタン

レコーダーの録音/再生に使用します。

## ⑬ [鍵盤タッチ] ボタン

鍵盤を弾く強さと音量の関係を設定します。

## ⑭ [移調] ボタン

弾き方を変えずに簡単に移調することができます。

## ⑮ [USB] ボタン

USBモードに入る際に使用します。

## ⑯ [電源] スイッチ

電源をオン/オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

※CN340GPは節電のため、自動的に電源をオフするオートパワーオフ機能を備えています。(→93ページ)

## ⑰ [PHONES] 端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2つまで接続できます。

## ⑱ [USB to DEVICE] 端子

USBメモリーやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。保存されている曲を再生したり、CN340GPで録音した曲をUSBメモリーに保存することもできます。

## ⑲ [LINE IN] 端子

他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子とこの端子を接続すると、CN340GPの内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力することができます。

## ⑳ [LINE OUT] 端子

CN340GPの音を他の外部機器(アンプ、ステレオ)などで聴いたり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する出力端子です。

## ㉑ [USB to HOST] 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

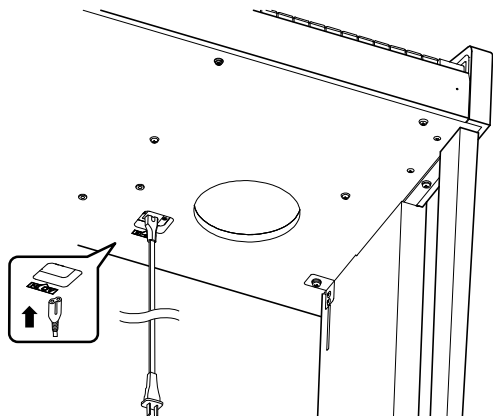
## ㉒ [MIDI IN / OUT] 端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

# 電源を入れる / アジャスターの調整

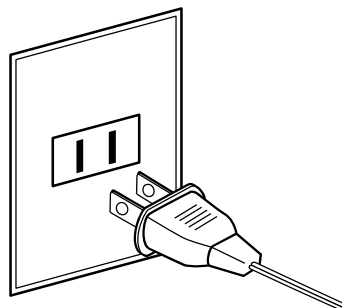
## 1. 電源コードを本体に接続する

付属の電源コードを、本体底面に差し込みます。



## 2. 電源コードをコンセントに接続する

電源コードをAC100Vのコンセントに差し込みます。



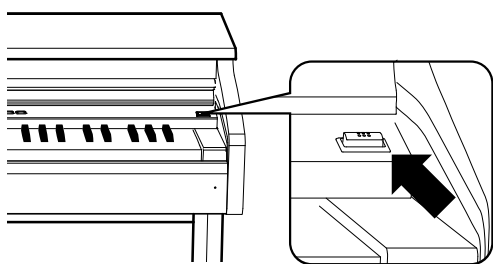
## 3. 電源を入れる

[電源]スイッチを押して電源をオンにします。

[電源]スイッチを押すと音色ボタンの[コンサートピアノ]が点灯し、LCDディスプレイに「コンサートグランド1」と表示されます。また電源ランプも点灯します。

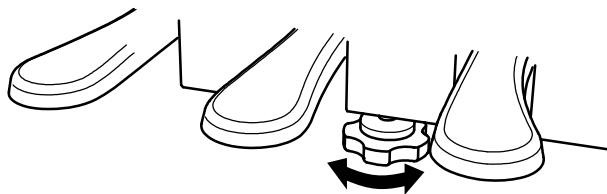
コンサート グランド1

電源を切るときは、もう一度[電源]スイッチを押します。画面の表示が消え、ボタン・電源ランプも消灯します。



## ■ アジャスターを調整する

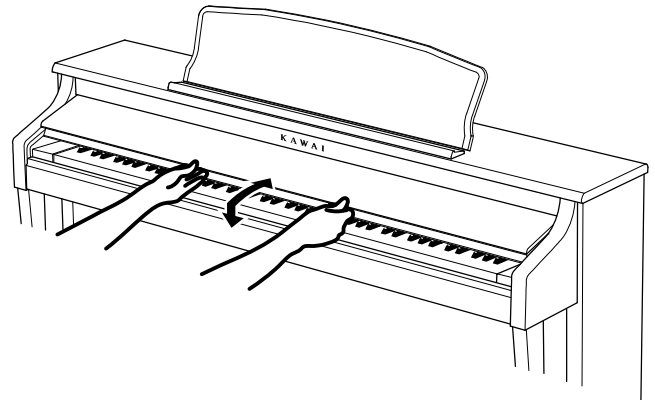
ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態で使用下さい。



# 鍵盤蓋を開ける / 閉める

## ■ 鍵盤蓋を開ける

取っ手を両手で軽く持ち上げ、奥に押し込みます。



## ■ 鍵盤蓋を閉める

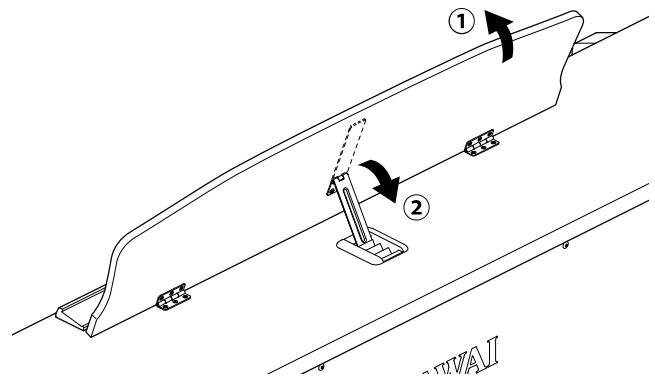
取っ手を両手でゆっくりと手前に引き、下へ静かに降ろします。

\* 鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

# 譜面立てを利用する

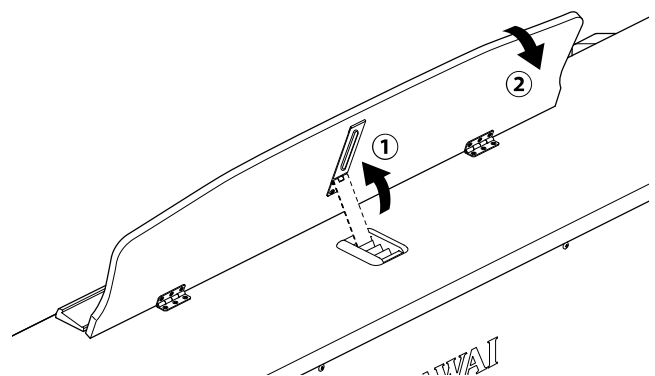
## ■ 譜面立てを起こす / 角度を調整する

- ① 譜面台を手前に起こします。
- ② 譜面台金具を金具ホルダーのお好みの場所に設置します。  
(角度は3段階に調整することができます。)



## ■ 譜面立てを倒す

- ① 金具を起こします。
- ② 譜面立てをゆっくりと倒します。



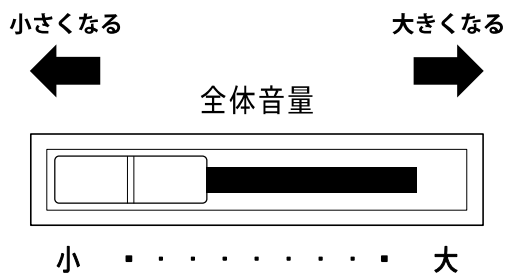
# 音量を調整する / ヘッドホンを使う

## ■ 音量を調整する

本体右にある[全体音量]スライダーで音量を調整します。右側に動かすと音量が大きくなり、左側に動かすと小さくなります。

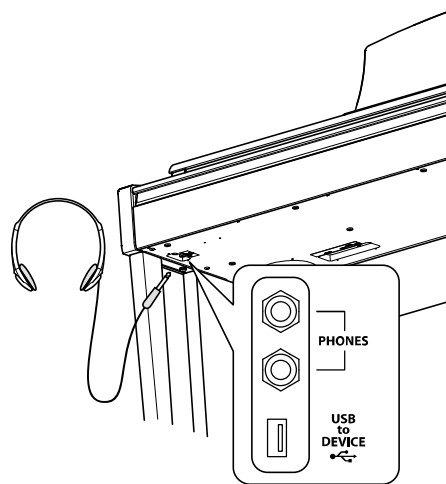
実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。

\* [全体音量]スライダーでは[LIN OUT]端子の出力レベルは調整できません。ラインアウト音量設定(65ページ)にて行ってください。



## ■ ヘッドホンを使う

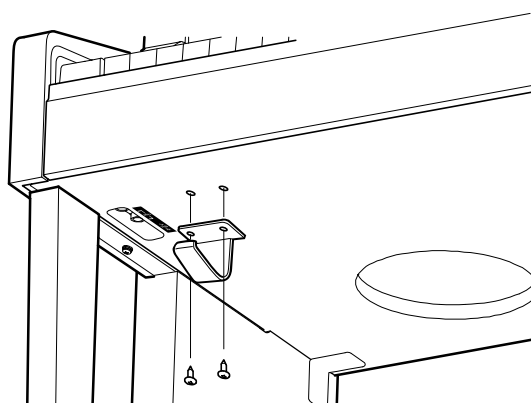
ヘッドホンを[PHONES]端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。



## ■ ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。

ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。





# いろいろな音色を楽しむ

CN340GPにはたくさんの音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色はそれぞれ音色ボタンに割り当てられています。

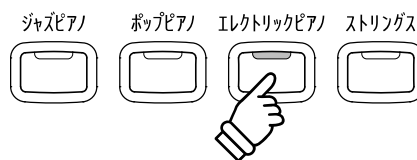
電源ON時は「コンサートピアノ/コンサートグランド1」の音色が選ばれています。

## 1. 音色ボタンを押して音色を選ぶ

選んだ音色ボタンが点灯し、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。鍵盤を弾いてみましょう。

ディスプレイには、現在選ばれている音色名が表示されます。

クラシック E. ピアノ



例：[エレクトリックピアノ]ボタンを選びます。

## 2. 音色を変更する

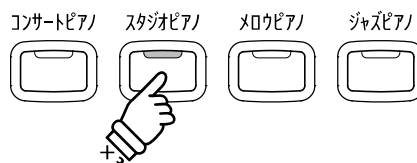
他の音色ボタンを押すと、そのボタンに割り当てられている音色が鳴ります。

また選択されている音色と同じ音色ボタンを押すと、そのグループ内の次のバリエーションが選ばれます。

スタジオ グランド 1



スタジオ グランド 3



例：[スタジオピアノ]ボタンを3回押して「スタジオグランド3」を選びます。

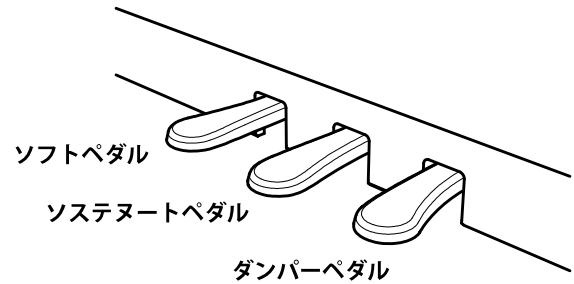


[設定]ボタンを押すと順番に音色を変更することができます。

一方の[設定]ボタンを押しながら他方の[設定]ボタンを押すことで、次のカテゴリーに移動することができます。

# ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。



## ■ ダンパーペダル(右のペダル)

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます(ハーフペダル対応)。

## ■ ソステヌートペダル(中央のペダル)

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音しません。

## ■ ソフトペダル(左のペダル)

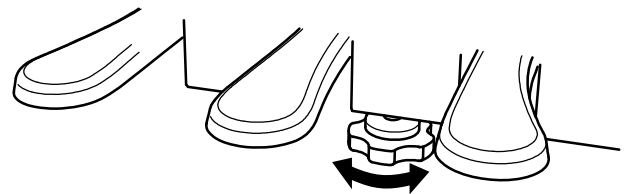
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

[エフェクト] ボタン を押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード(Slow / Fast)を切り替えます。

\* 音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

## ■ アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。



## ■ ペダルのお手入れについて

表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります(ゴールドのペダルのみ)。シルバーペダルは、布で拭いても問題ありません。サビ落とし用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

## ■ グランドフィールペダルシステムについて

CN340GPのペダルにはグランドフィールペダルシステムが搭載されています。3本のペダルそれぞれがよりグランドピアノEXIに近い踏み心地となっています。

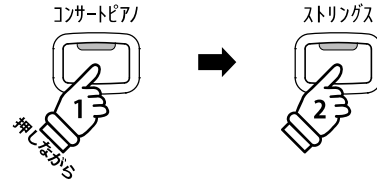
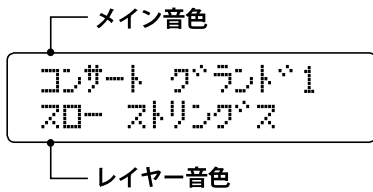
# 2つの音色を重ねる(デュアル)

デュアル演奏とは2つの音色を重ね合わせる機能です。2つの音色が同時に発音されメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

## 1. デュアル演奏に入る

組み合わせたい音色の片方(メイン音色)を選び、その音色ボタンを押しながら、もう一方の音色ボタンを押して重ねる音色(レイヤー音色)を選びます。

両方のボタンが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。

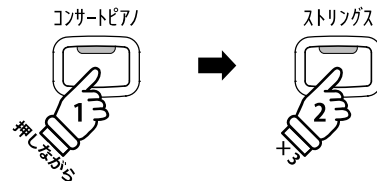
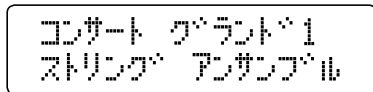


(例) [コンサートピアノ]ボタンを押しながら[Stringス]ボタンを押して、コンサートグランド1とスロースtringスを組み合わせます。

## 2. デュアル演奏での音色変更

レイヤー音色のバリエーションを変更する：

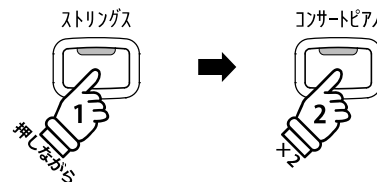
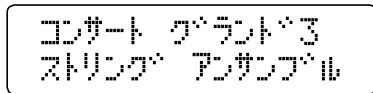
メイン音色の音色ボタンを押しながら、レイヤー音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。



(例) [コンサートピアノ]ボタンを押しながら[Stringス]ボタンを3回押して、スロースtringスをStringスアンサンブルに変更します。

メイン音色のバリエーションを変更する：

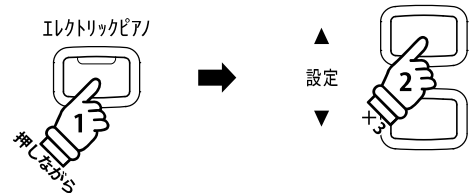
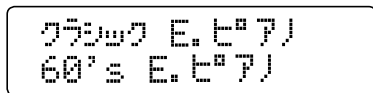
レイヤー音色の音色ボタンを押しながら、メイン音色の音色ボタンを繰り返し押して、バリエーションを選びます。



(例) [Stringス]ボタンを押しながら[コンサートピアノ]ボタンを2回押して、コンサートグランド1をコンサートグランド3に変更します。

同じボタンの音色を重ねる：

音色ボタンを押しながら、[設定]ボタンを押して、バリエーションを選びます。



(例) [エレクトリックピアノ]ボタンを押しながら[設定▲]ボタンを3回押して、クラシックE.ピアノと60'sエレクトリックピアノを重ねます。

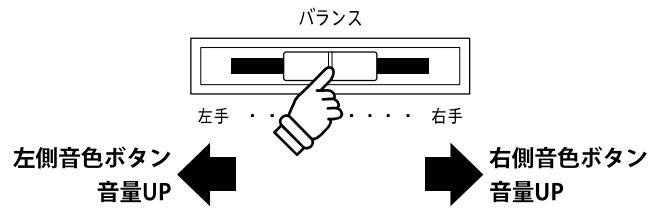
\* これらの設定はユーザーメモリーに記憶することができます。(→70ページ)

## 2つの音色を重ねる(デュアル)

### 3. デュアルの音量バランスを調節する

スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調節することができます。

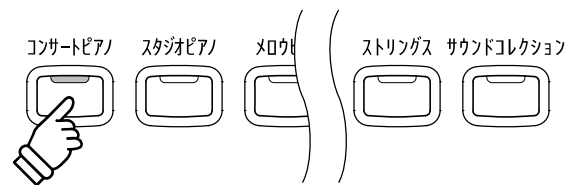
- \* 音量バランスの設定はユーザーメモリーに記憶することができます。(→70ページ)
- \* キーセッティングメニューの「レイヤーオクターブシフト」でレイヤー音色のオクターブを変更することができます。(→82ページ)
- \* キーセッティングメニューの「レイヤーダイナミクス」でレイヤー音色のタッチ変化の幅を変更することができます。(→83ページ)



### 4. デュアル演奏を終了する

デュアル演奏の解除は、音色ボタンのいずれかを1つ押します。

押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。



コンサート ピアノ 1

# 2つの音色を並べる(スプリット)

スプリット演奏とは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。低音側でベースパートを、高音側でメロディーパートを演奏したりすることができます。また鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

## 1. スプリット演奏に入る

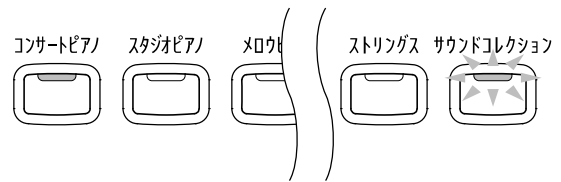
[スプリット]ボタンを押します。

[スプリット]ボタンが点灯し、鍵盤の音色がスプリットポイントで分割されます。

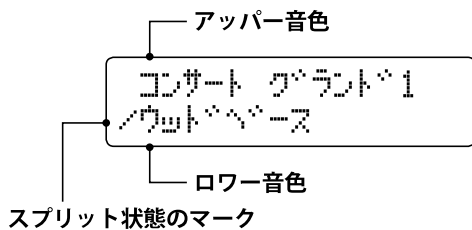


\* スプリットポイントの初期値はC3(ド)に設定されています。

点灯している音色ボタンは、[スプリット]ボタンを押す前に選ばれている高音側の音色(アッパー音色)、点滅している音色ボタンは、低音側の音色(ロー音色)です。

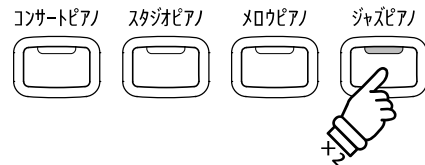


\* 初期状態では、ロー音色はウッドベースに設定されています。



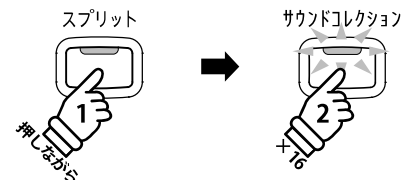
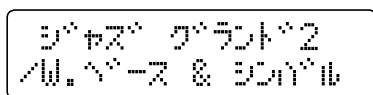
## 2. 高音側・低音側の音色変更

高音側の音色(アッパー音色)は、音色ボタンを押して変更します。



(例) [ジャズピアノ]ボタンを2回押して、ジャズグランド2を選びます。

低音側の音色(ロー音色)は、[スプリット]ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します



(例) [スプリット]ボタンを押しながら[サウンドコレクション]ボタンを3回押して、W.ベース & シンバルを選びます。

\* これらの設定はユーザーメモリーに記憶することができます。(→70ページ)

\* キーセッティングメニューの「ローオクターブシフト」でロー音色のオクターブを変更することができます。(→80ページ)

\* キーセッティングメニューの「ローペダルセッティング」でロー音色にペダルが効くか効かないかを設定することができます。(→81ページ)

## 2つの音色を並べる(スプリット)

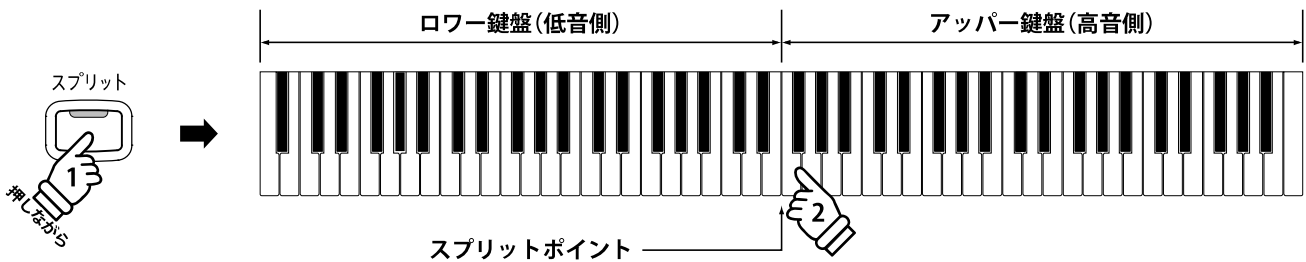
### 3. スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、[スプリット]ボタンを押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が高音側の最低音になります。

スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。

スプリット ポイント  
= F3

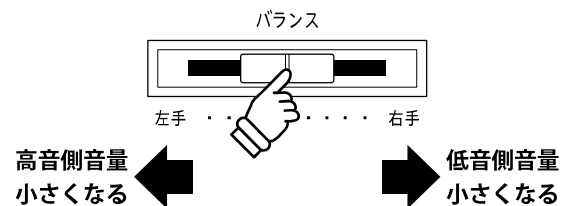
(例) [スプリット]ボタンを押しながらF3(ファ)の鍵盤を押して、スプリットポイントをF3(ファ)に設定します。



### 4. スプリットの音量バランスを調整する

スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調整することができます。

\* 音量バランスの設定はユーザーメモリーに記憶することができます。(→70ページ)



### 5. スプリット機能をオフにする

スプリット演奏を解除する時は、再度[スプリット]ボタンを押します。

[スプリット]ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

ジャズ クラリネット



# 連弾演奏する(4ハンズモード)

スプリットポイントを境にして右側と左側に鍵盤を分け、それぞれ同じ音域で演奏することができるので、2台のピアノのように連弾演奏を楽しむことができます。初期状態の設定では、通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は2オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は2オクターブ上がります。鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といいます。

\* 4ハンズモードはベーシックセッティング(69ページ)からでも入れることができます。

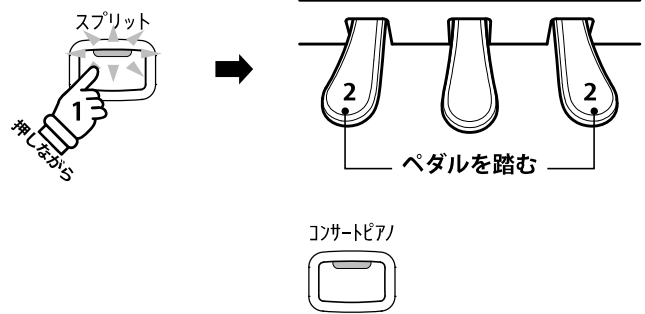
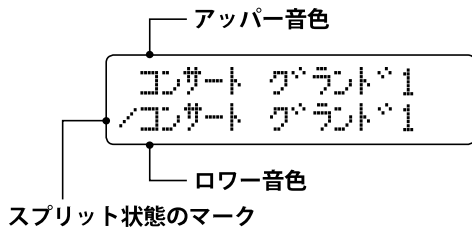
## 1. 4ハンズモードに入る

[スプリット]ボタンを押しながらダンパーペダル(右ペダル)とソフトペダル(左ペダル)を踏みます。

[スプリット]ボタンが点滅し、4ハンズモードに入ります。

\* 初期状態ではスプリットポイントはF3(ファ)に設定されており、鍵盤はE3(ミ)とF3(ファ)の間で分割されます。

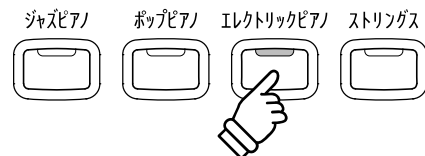
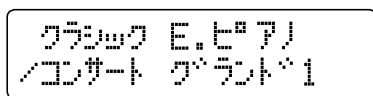
ディスプレイ上段に右側の音色(アッパー音色)、下段に左側の音色(ロワー音色)が表示されます。



\* 初期状態では、アッパー、ロワー音色ともにコンサートグランド1に設定されています。

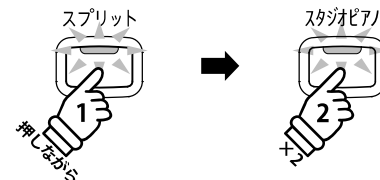
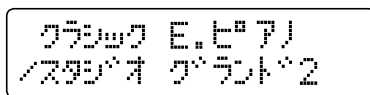
## 2. 右側・左側の音色変更

右側の音色(アッパー音色)は、音色ボタンを押して変更します。



(例) [エレクトリックピアノ]ボタンを押して、クラシックE.ピアノを選びます。

左側の音色(ロワー音色)は、[スプリット]ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します



(例) [スプリット]ボタンを押しながら[スタジオピアノ]ボタンを2回押して、スタジオグランド2を選びます。

\* 4ハンズモードの設定はユーザーメモリーに記憶することができます。(→70ページ)

## 連弾演奏する(4ハンズモード)

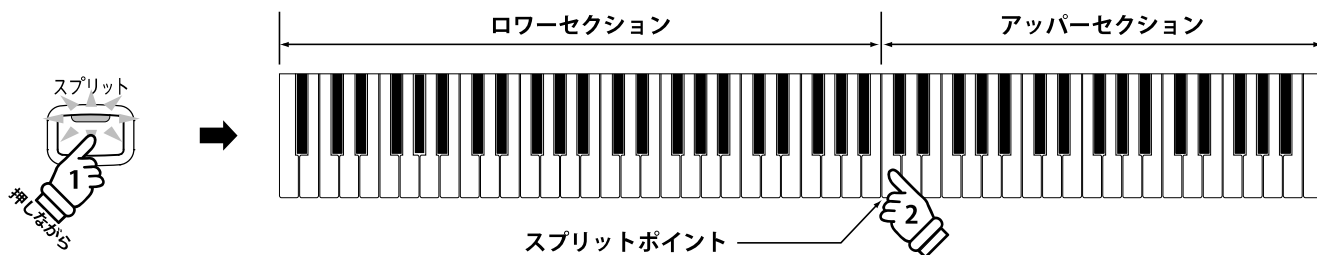
### 3. スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、[スプリット] ボタンを押しながら鍵盤を押します。押した鍵盤が右側の最低音になります。

スプリットポイントを設定すると、押した鍵盤の音名がディスプレイに表示されます。

スプリットポイント  
= C4

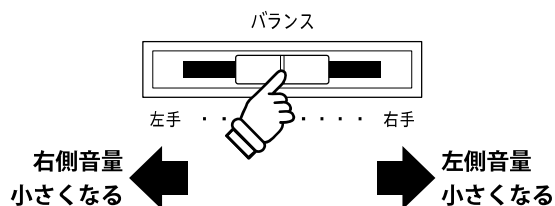
(例) [スプリット] ボタンを押しながらC4(ド)の鍵盤を押して、スプリットポイントをC4(ド)に設定します。



### 4. 4ハンズモードの音量バランスを調整する

スライダーを利用して、2つの音色の音量バランスを調整することができます。

\* 音量バランスの設定はユーザーメモリーに記憶することができます。(→70ページ)



### 5. 4ハンズモードを抜ける

4ハンズモードを抜ける時は、再度[スプリット] ボタンを押します。

[スプリット] ボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

クラシック E.ピアノ





# 音に効果を加える

CN340GPは、効果(リバーブ/エフェクト)を加えて音の表情を変えることができます。これらの効果は、予め推奨の設定が音色ごとに用意されていますが、好みに合わせて変更することができます。

これらの変更内容は、ユーザーメモリーに記憶することができます(→70ページ)。

## 1 リバーブ

リバーブを加えると、音に残響効果加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。CN340GPは6種類のリバーブを用意しています。

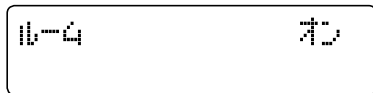
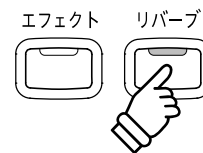
### ■ リバーブの種類

種類	効果
ルーム	室内で演奏しているような残響効果が得られます。
ラウンジ	ラウンジやロビーで演奏しているような残響効果が得られます。
スモールホール	小規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
コンサートホール	大規模なホールで演奏しているような残響効果が得られます。
ライブホール	ライブホールやステージで演奏しているような残響効果が得られます。
カテドラル	大聖堂で演奏しているような残響効果が得られます。

### 1. リバーブのオン/オフ

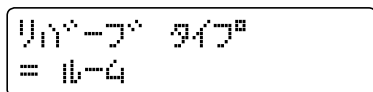
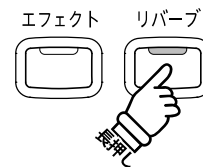
[リバーブ]ボタンを押して点灯させると残響効果がかかり、画面に現在選択されているリバーブの種類が表示されます。

再度[リバーブ]ボタンを押すと消灯し、残響効果は解除されます。



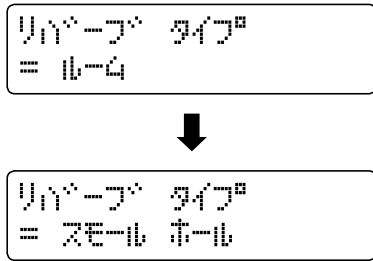
### 2. リバーブの変更画面へ入る

[リバーブ]ボタンを長押しするとリバーブ変更画面が表示されます。



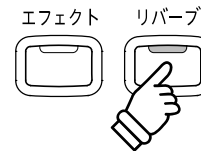
## 3. リバーブの変更

リバーブ変更画面が表示されている間に[設定]ボタンを押すと、リバーブの種類が切り替わります。



(例) [設定▲]ボタンを2回押して、ルームをスモールホールに変更します。

[リバーブ]ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。



- \* 変更内容は、音色ごとに設定されます。
- \* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* 各音色の変更内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

## 2 エフェクト

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。エフェクトは、音に奥行き感や厚みを加える効果です。

CN340GPは13種類のエフェクトを用意しています。

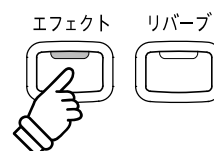
### ■ エフェクトの種類

種類	効果
コーラス	音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることで、音に広がりを加えます。
クラシックコーラス	ビンテージのエレピに適したコーラスです。
ステレオディレイ	反射音を左右同時に出力します。
ピンポンディレイ	反射音を左右交互に出力します。
トリプルディレイ	反射音を中央、右、左と順に出力します。
トレモロ	音に“ゆらぎ”を与える効果です。
クラシクトレモロ	ビンテージのエレピに適したトレモロです。
フェイザー	位相変調を行い音にうねりを与えます。
ロータリー1	ロータリー(回転式)スピーカーを使って得られる効果です。 ソフトペダル(左のペダル)を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、音の間こえる位置を周期的に変化させるオートパンと組み合わせた効果です。

### 1. エフェクトのオン/オフ

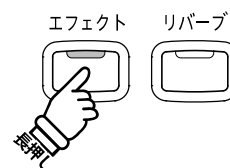
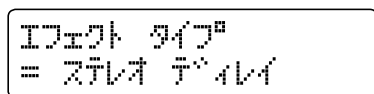
[エフェクト]ボタンを押して点灯させるとエフェクト効果がかかり、画面に現在選択されているエフェクトの種類が表示されます。

再度[エフェクト]ボタンを押すと消灯しエフェクト効果は解除されます。

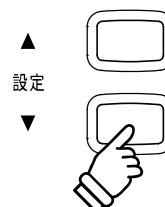


### 2. エフェクトの種類を変更する

[エフェクト]ボタンを長押しするとエフェクト変更画面が表示されます。



[設定]ボタンを押すと、エフェクトの種類が切り替わります。



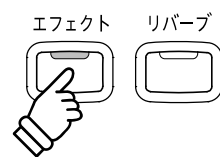
## 音に効果を加える

[エフェクト]ボタンを押すか、そのまましばらくすると通常音色画面に戻ります。

\* 変更内容は、音色ごとに設定されます。

\* 各音色の変更内容は、電源を切るまで保持されます。

\* 各音色の変更内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)



# パネル・ロック

パネル・ロックは、演奏中の誤操作を防止する為に、鍵盤とペダル以外のボタンの機能を一時的にロックすることができます。

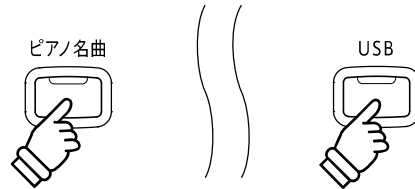
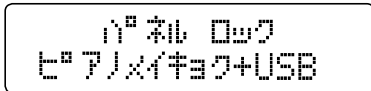
## 1. パネル・ロックをオンにする

[ピアノ名曲] ボタンと [USB] ボタンを同時に押して、パネル・ロックをONにします。

パネルロックオンのメッセージ画面が表示され、パネルのボタンがロックされます。



パネル・ロックがONになっているときパネルボタンを操作すると、次の画面が表示されます。

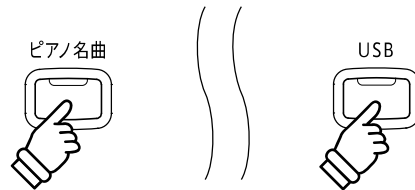


\* 電源をオフにしてもパネルロックは解除されません。

## 2. パネル・ロックを解除する

[ピアノ名曲] ボタンと [USB] ボタンを、再度同時に押します。

パネルロックオフのメッセージ画面が表示され、ロックが解除されます。



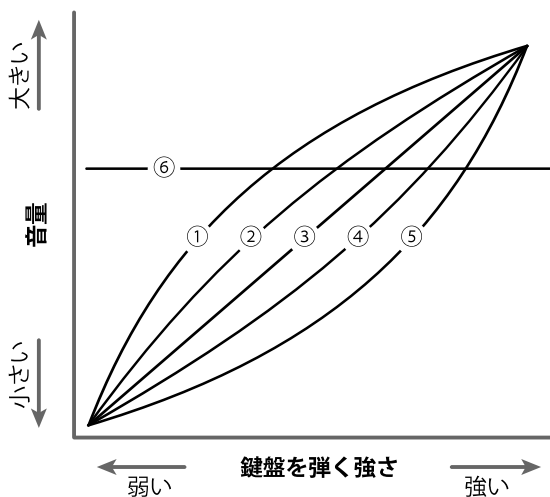
# タッチカーブ

ピアノでは鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。この鍵盤を強く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。

CN340GPでは、6種類のタッチカーブを搭載しています。

## ■ タッチカーブの種類

種類	効果
ライト+	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
ライト	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
ヘビー+	指の力の強い人向きのタッチカーブです。
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。

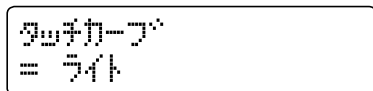


①	ライト+
②	ライト
③	ノーマル
④	ヘビー
⑤	ヘビー+
⑥	オフ

## ■ タッチカーブの設定を変更する

[鍵盤タッチ] ボタンを押しながら [設定] ボタンを押してタッチカーブの種類を選びます。

[鍵盤タッチ] ボタンが点灯し、ディスプレイに現在選ばれているタッチカーブの種類が表示されます。

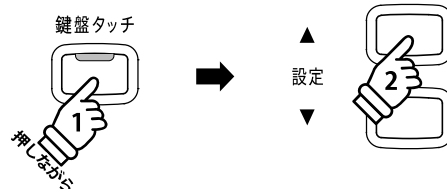


ここで選択したタッチカーブは、[鍵盤タッチ] ボタンのランプが点灯時に有効になります。

[鍵盤タッチ] ボタンを押して消灯させると、ノーマルに設定されます。

\* タッチカーブの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* タッチカーブの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)



# 移調する(トランスポーズ)

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー(調)の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

## ■ 鍵盤を移調する(キー トランスポーズ)：方法1

[移調] ボタンを押しながら、[設定] ボタンを押して調節します。

移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

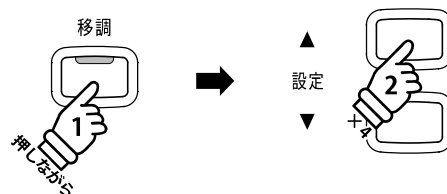
キー トランスポーズ  
= 0 (C)



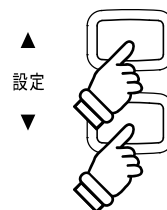
キー トランスポーズ  
= +4 (E)

\* 半音単位、上下1オクターブずつ(-12~+12)の範囲で設定できます。

\* 2つの[設定] ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。



(例) [移調] ボタンを押しながら、[設定▲] ボタンを4回押して移調を+4にし、音程を4半音上げます。



## ■ 鍵盤を移調する(キー トランスポーズ)：方法2

[移調] ボタンを押しながら、C2(ド)~C4(ド)の鍵盤を押して指定します。

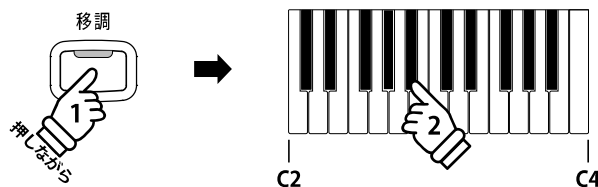
移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

キー トランスポーズ  
= 0 (C)



キー トランスポーズ  
= -2 (A#)

\* C2(ド)からC4(ド)：(-12~+12)の範囲で設定できます。



(例) [移調] ボタンを押しながら、A<sup>#</sup>2(ラ<sup>#</sup>) 鍵盤を押して移調を-2にし、音程を2半音下げます。

## ■ 鍵盤の移調(キー トランスポーズ)のオン/オフ

[移調] ボタンを押して、鍵盤の移調をオン/オフすることができます。

[移調] ボタンを消灯させると、鍵盤の移調がオフされます。

\* 指定した鍵盤の移調の値は[移調] ボタンを消灯した後も、電源を切るまで保持されますので、その都度設定する必要はありません。

\* 指定した鍵盤の移調の値は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

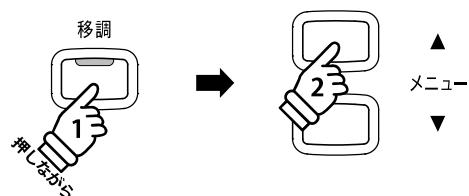


## 移調する(トランスポーズ)

USBから再生されるソング(SMFファイル)、内部レコーダーのソングを移調することができます。(音色デモ曲を移調することはできません。)

### ■ 曲を移調する(ソングトランスポーズ)

[移調] ボタンを押しながら、[メニュー] ボタンを押して、ソングトランスポーズを選びます。



ソングトランスポーズ画面が表示されている間に[設定] ボタンを押して調節します。



ソング° トランスホ°ーズ°  
= 0 (C)



ソング° トランスホ°ーズ°  
= +2 (D)

(例)ソングトランスポーズ画面で[設定▲]ボタンを2回押して移調を+2にし、音程を2半音上げます。

- \* 半音単位、上下1オクターブずつ(-12~+12)の範囲で設定できます。
- \* 2つの[設定]ボタンを同時押しすると、移調の値は0にリセットされます。
- \* 曲を選ぶと、移調の値は0にリセットされます。



# メトロノームを使う

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

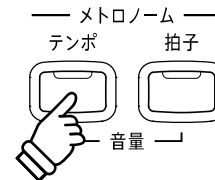
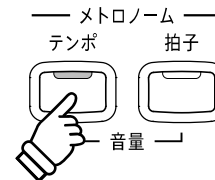
## 1. メトロノームのオン/オフ

[テンポ] ボタンまたは[拍子] ボタンを押します。ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。

ディスプレイにテンポの値、または拍子が表示されます。

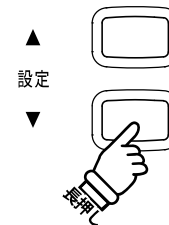
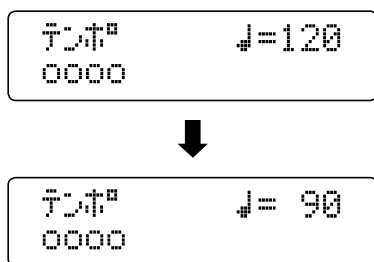


再度[テンポ] ボタンまたは[拍子] ボタンを押すとメトロノームが止まり、ボタンが消灯します。



## 2. テンポ/拍子の設定

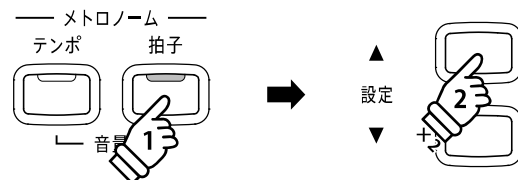
ディスプレイにテンポ画面が表示されている間に、[設定] ボタンを押してテンポを調節します。



(例) [設定▼] ボタンを長押しして、テンポを下げます。

\* メトロノームのテンポは、10~400の範囲で設定できます。  
(3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、20~800)

ディスプレイに拍子画面が表示されている間に、[設定] ボタンを押して拍子を選びます。



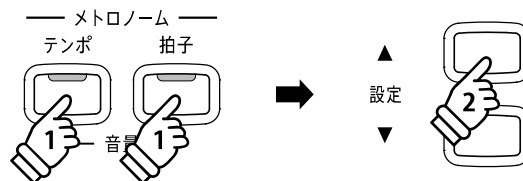
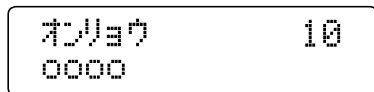
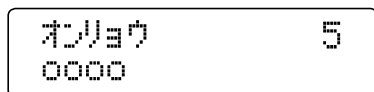
(例) [拍子] ボタンを押して拍子画面を選び、拍子が1/4のときは、[設定▲] ボタンを2回押して、3/4を選びます。

\* 拍子は1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8 より選択することができます。リズムは100種類より選択することができます。(100ページをご参照ください。)

## 3. 音量の設定

[テンポ] ボタンと[拍子] ボタンを同時に押します。

[テンポ] ボタンと[拍子] ボタンが点灯し、メトロノームが発音し、ディスプレイに音量の値が表示されます。



- \* メトロノームの音量は、0～10の範囲で設定できます。
- \* メトロノームの設定は、電源をオフすると初期値に戻ります。必要な変更内容はユーザーメモリーに保存してください。(→70ページ)

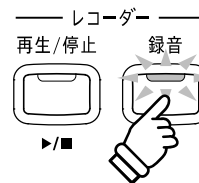
## ■ メトロノームを使って録音する

メトロノーム発音中に[録音] ボタンを押すと録音待機状態になります。

このときメトロノームも[テンポ] ボタンまたは[拍子] ボタンが点灯したまま待機状態になります。

[再生/停止] ボタンを押すと、1小節のカウントの後、メトロノームの発音とともに録音が始まります。

- \* レコーダーの詳細は38ページを参照して下さい。



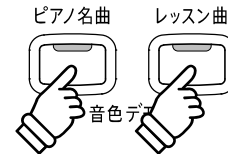
# 音色デモ曲を聴く

CN340GPには各音色ボタンごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。内蔵デモ曲については音色デモ曲一覧(96ページ)をご参照ください。

## 1. 音色デモ曲の再生

[ピアノ名曲]ボタンと[レッスン曲]ボタンを同時に押し

ます。  
[ピアノ名曲]ボタンと[レッスン曲]ボタンが点灯し、コンサートピアノのデモ曲が演奏されます。コンサートピアノのデモ曲演奏後は、各音色のデモ曲が順不同で演奏されます。

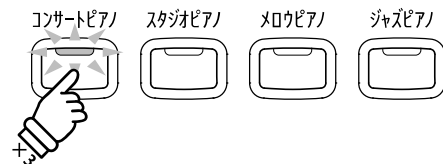


## 2. 音色デモ曲を選ぶ。

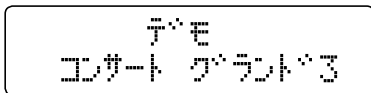
音色ボタンを押して聴きたいデモ曲を選びます。

選んだ音色ボタンが点滅して、デモ曲が再生されます。

押した音色ボタンに含まれる曲が再生された後、他の音色のデモ曲が順不同に再生されます。



例：[コンサートピアノ]ボタンを3回押して「コンサートグランド3」デモを選びます。

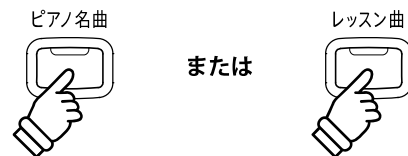


また、[設定]ボタンでもデモ曲を選択できます。



## 3. 音色デモ曲の停止

[ピアノ名曲]ボタンまたは[レッスン曲]ボタンを押します。  
[ピアノ名曲]ボタンと[レッスン曲]ボタンが消灯し、デモ曲が止まります。



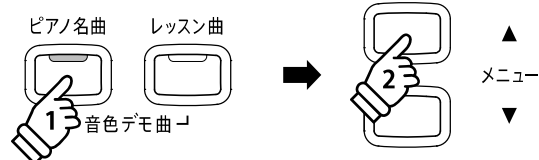
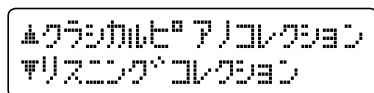
# クラシカルピアノコレクションを聴く

CN340GPには発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を内蔵しています。また対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属しています。鑑賞や練習にご活用ください。

曲名についてはクラシカルピアノコレクション曲一覧(97ページ)をご参照ください。

## 1. クラシカルピアノコレクションモードに入る

[ピアノ名曲]ボタンを押します。

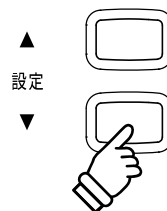
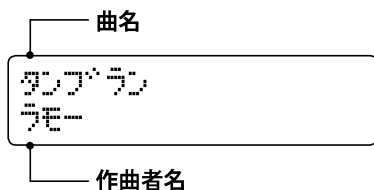


[メニュー▲]ボタンでクラシカルピアノコレクションを選びます。

\* [再生/停止]ボタンを押すと曲が再生されます。

## 2. 曲を選択する

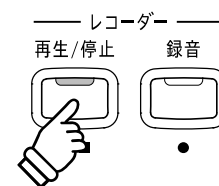
[設定]ボタンを押して聴きたい曲を選びます。  
ディスプレイの upper 段に曲名、下段に作曲者名が表示されます。



## 3. 曲を聴く

[再生/停止]ボタンを押すと曲が再生されます。  
また、レッスンの練習曲同様、片方のパートだけを再生することができます。

\* 演奏を停止するまでは、曲が順不同に演奏されます。



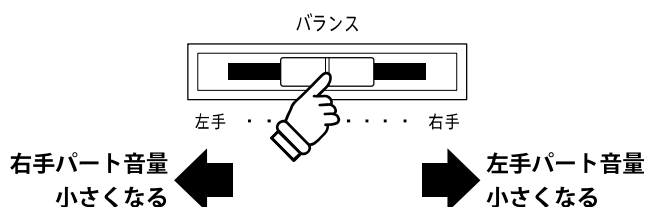
## 4. 曲を停止してクラシカルピアノコレクションモードを終了する

再生中に[再生/停止]ボタンを押すと曲が停止します。  
[ピアノ名曲]ボタンを押すとクラシカルピアノコレクションモードを終了します。

## ■ 右手と左手のバランスを変更する

[バランス]スライダーで練習したいパートのバランスを設定します。

右手パートを練習したいときはスライダーを左側へ、左手パートを練習したいときは右側へ動かします。

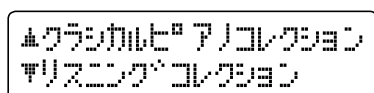


# リスニングコレクションを聴く

くつろぎの曲想を集めたリスニングコレクションです。  
曲目についてはリスニングコレクション曲目一覧(98ページ)をご参照ください。

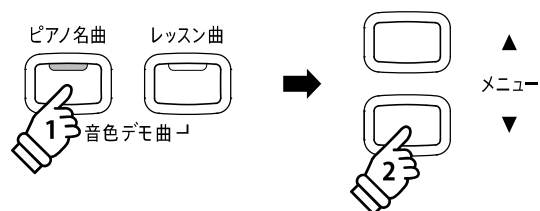
## 1. リスニングコレクションモードに入る

[ピアノ名曲] ボタンを押します。



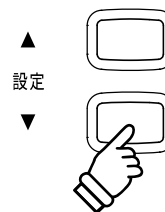
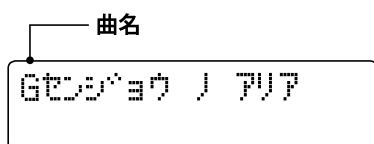
[メニュー▼] ボタンでリスニングコレクションを選びます。

\* [再生/停止] ボタンを押すと曲が再生されます。



## 2. 曲を選択する

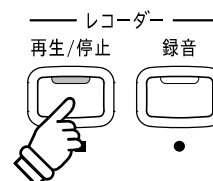
[設定] ボタンを押して聴きたい曲を選びます。



## 3. 曲を聴く

[再生 / 停止] ボタンを押すと曲が再生されます。

\* 演奏を停止するまでは、曲が順不同に演奏されます。



## 4. 曲を停止してリスニングコレクションモードを終了する

再生中に[再生/停止] ボタンを押すと曲が停止します。

[ピアノ名曲] ボタンを押すとリスニングコレクションモードを終了します。

# レッスン機能を楽しむ

## 1 練習したい曲を選ぶ

CN340GPはピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵し、楽しみながら様々なレッスンを行うことができます。

ここではレッスン機能を使ってできることと練習したい曲を選ぶ方法を説明します。レッスン曲集の種類についてはレッスン曲集一覧(98ページ)をご参照ください。

### ■ レッスン機能を使って

内蔵曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 曲の途中の部分をつくり返して練習する。
5. 見本曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートの演奏を録音して聴いてみる。

\* これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。

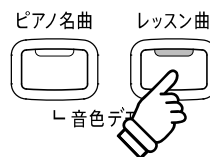
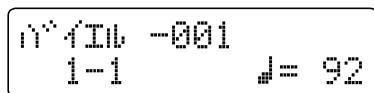
\* 設定されているテンポよりも遅くして再生した時、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変わらない場合があります。

\* 練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時(フォルテ)の音量を下げています。

\* 楽譜はカワイ出版をご使用下さい。(98ページ参照)

### 1. レッスンモードに入る

[レッスン曲]ボタンを押してレッスンモードに入ります。



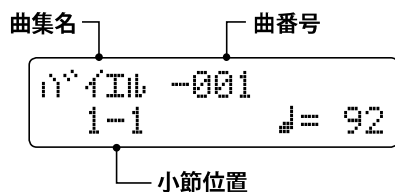
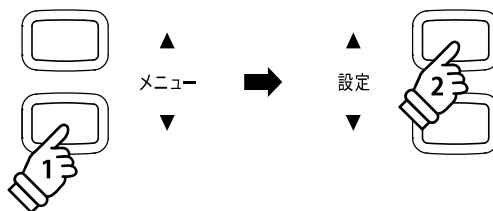
\* [再生/停止]ボタンを押すと練習曲が再生されます。

### 2. 練習したい曲を選択する

練習したい曲を選びます。[メニュー]ボタンで曲集を、[設定]ボタンで曲を選択します。

[レッスン曲]ボタンを押しながら鍵盤を押すことで曲番号の選択を行うことも可能です。

再生中でも曲選択は操作可能です。ただし練習を録音中の場合は操作できません。



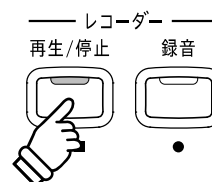
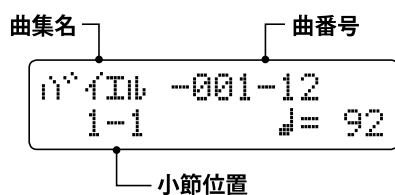
## 2 練習曲を聴く

ここではバイエル、チェルニーなどの練習曲を聴く方法を説明します。

### 1. 練習曲を聴く

(前ページ、曲を選択した後)

[再生/停止]ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴った後、見本曲が再生されます。



見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には、[テンポ]ボタンをオンにします。

[再生/停止]ボタンをもう一度押すと見本曲の再生が止まります。

### 2. レッスンモードを終了する

[レッスン曲]ボタンを押すとレッスンモードを終了します。

### 3 片手で練習する / テンポを変更する

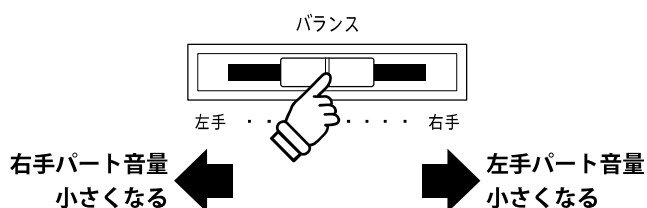
ここでは練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法、テンポを変更する方法を説明します。

#### ■ 片手で練習する

1. 練習曲を選択した後、[バランス]スライダーで練習したいパートのバランスを設定します。

右手パートを練習したいときはスライダーを左側へ、左手パートを練習したいときは右側へ動かします。

2. [再生/停止] ボタンを押すと1小節メトロノームが鳴った後、セットしたバランスで再生が始まりますので、見本曲に合わせて片方のパートを演奏して練習します。



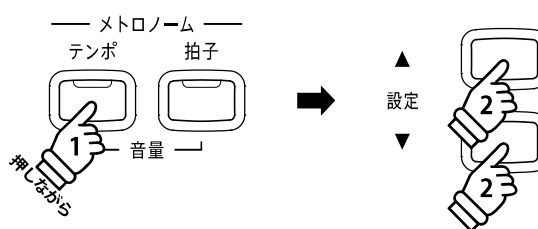
\* 自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、練習曲の再生を小さくするか消して下さい。

\* バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、左の値を大きくすると生徒のパートが小さくなり、右の値を大きくすると先生のパートが小さくなります。

#### ■ テンポを変更する

[テンポ] ボタンを押しながら [設定] ボタンを押してテンポを変更できます。

元のテンポに戻す場合には、[テンポ] ボタンを押しながら2つの [設定] ボタンを同時に押します。



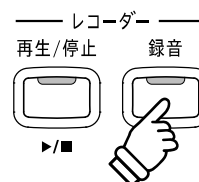


## 4 練習曲に合わせて録音する

ここでは練習曲に合わせて練習しながらそれを聞いてチェックする方法を説明します。

### 1. 録音をする

練習曲を選択し[録音]ボタンを押します。[録音]ボタンと[再生/停止]ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後、練習曲の再生と演奏の録音が始まります。

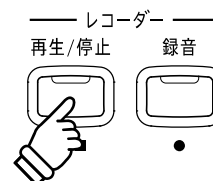


### 2. 録音の終了

[再生/停止]ボタンを押して、録音を終了します。練習曲の再生と演奏の録音が終了し、[録音]ボタンと[再生/停止]ボタンが消灯します。

録音した演奏は[録音]ボタンと[再生/停止]ボタンを同時に押すと消去することができます。

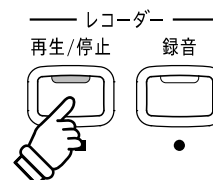
\* 録音した演奏は別の見本曲を選ぶと消去されます。



### 3. 録音した演奏を聴く

もう一度[再生/停止]ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴ったあと見本曲と録音した演奏が再生されます。

さらにもう一度[再生/停止]ボタンを押すと練習曲と練習の演奏が止まります。



# Int.(内部ソング)レコーダー

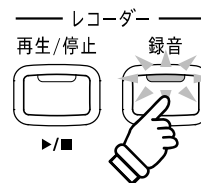
CN340GP本体のメモリーに3曲まで録音することができます。自分の演奏を録音しあとでじっくり聴いたり、指導者の方にお手本に録音してもらおうなど、使い方は様々です。各曲とも2パートに分けて録音できるため、左手パートを先に録音しておき、再生しながら右手パートを録音することができます。また、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させることもできます。

## 1 本体のメモリーに録音する

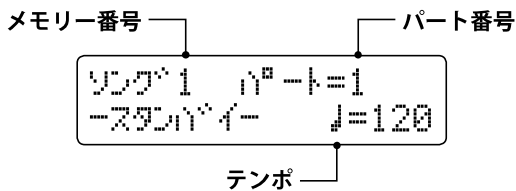
### 1.Int.レコーダーに入る

[録音] ボタンを押します。

ボタンが点滅し、Int.(内部ソング)レコーダー画面が表示されます。

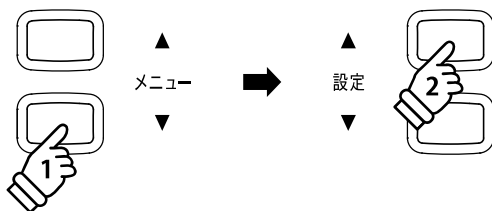


\* USBメモリーが接続されている場合は、[メニュー▲] ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。



### 2. ソング/パートを選ぶ

[メニュー] ボタンで、録音するソング番号1~3を選びます。



録音済みパート



[設定] ボタンで、録音するパート(1または2)を選びます。

\* そのパートがすでに録音されている場合は、'\*'マークが表示されます。

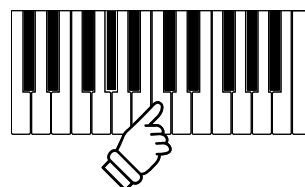


録音するメモリーやパートを選ぶ場合は、すでに録音したパートを誤って上書きしてしまわないようご注意ください。

### 3. 録音を開始する

演奏を始めます。

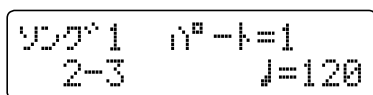
[録音] ボタンと[再生/停止] ボタンが点灯して、録音が始まります。



または



現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。

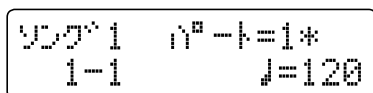


\* 曲の始めに休みを入れたい場合は、[再生/停止] ボタンを押して録音を開始することもできます。

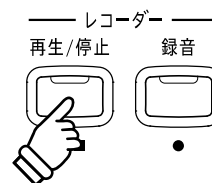
## 4. 録音を終了する

[再生/停止] ボタンを押します。[録音] ボタンと [再生/停止] ボタンが消灯して、録音が終了します。

録音した曲は内部のメモリーへ自動的に保存され、再生待機状態になります。



Int.レコーダーの再生については、40ページを参照してください。



\*レコーダーの総記憶容量は、ソング1~3の合計で約90,000音です。ボタンやペダルの操作も、1音として扱われます。

\*録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

\*録音した曲は、電源を切った後も内部メモリーへ保存されています。

## ■ 別のパートに録音する

別のパートに録音するときは、録音していないパートを選び、前述の手順を再度行ってください。

## ■ メトロノームを使って録音する

メトロノームを鳴らしながら録音すると、パートを分けて録音する場合や、正確なテンポで録音したい場合に便利です。メトロノームの音は録音されません。

\*メトロノームを使った録音の手順については29ページを参照して下さい。

## ■ 録音中のパネル操作に関して

録音中に音色などを変更をしたい場合があります。レコーダーで記録されるかされないかの一覧は次のとおりです。

### 記録されるパネル操作

音色変更

デュアル/スプリットモードの移行

デュアル/スプリットバランスの変更

### 記録されないパネル操作

リバーブ設定の変更

エフェクト設定の変更

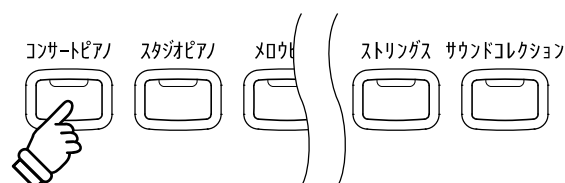
テンポ変更

トランスポーズ、チューニング、タッチカーブの変更

\*新しい曲を録音する前に、希望するテンポなどを選んでください。

## 5. レコーダーモードを終わる

音色ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。

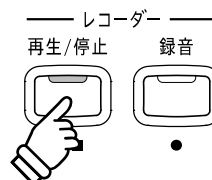
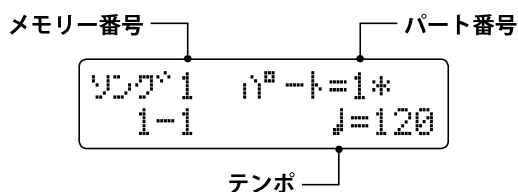


## 2 内部ソングを聴く

レコーダーの内部のメモリーに保存されたソングを再生します。録音したすぐ後に再生する場合は、ステップ2から初めてください。

### 1.Int.レコーダーに入る

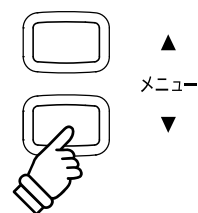
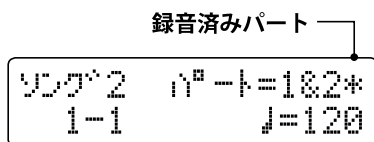
[再生/停止]ボタンを押します。  
Int.(内部ソング)レコーダー画面が表示されます。



\* USBメモリーが接続されている場合は、[メニュー▲]ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

### 2. ソングを選ぶ

[メニュー]ボタンで、再生するソングを選びます。

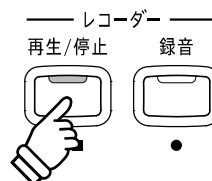
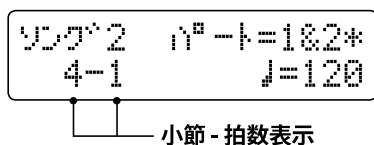


\* 録音されているパートは、「\*」マークが表示されます。

### 3. 再生を開始する

[再生/停止]ボタンを押します。

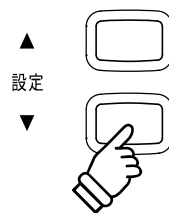
選んだソングの再生が始まり、現在の小節と拍数がディスプレイに表示されます。



## ■ 再生テンポを調整する

再生中に、[設定]ボタンを押して、テンポを選びます。

\* 再生テンポは、10～400の範囲で設定できます。

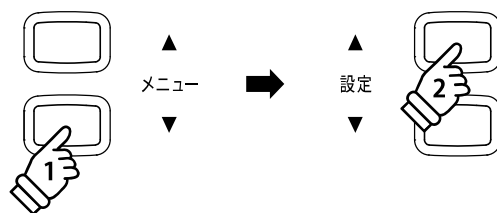


## ■ 再生の設定を変更する

ソング音量、ソングトランスポーズ、再生パートを変更します。

再生中に[メニュー]ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。

[設定]ボタンを押して、設定を変更します。

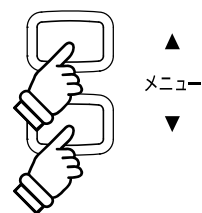


\* ソング音量は、1～10の範囲で選ぶことができます。

\* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。

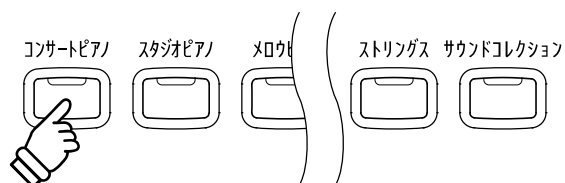
\* 再生パートは、パート1、パート2、パート1&2から選びます。

[メニュー▲]と[メニュー▼]ボタンを同時に押して、再生画面へ戻ります。



## 4. レコーダーモードを終わる

音色ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏状態に戻ります。

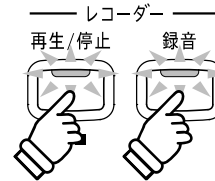
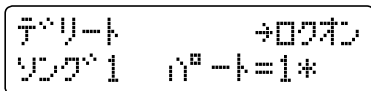


### 3 録音済みのパートを消去する

録音に失敗したり、いらなくなった内部ソングを1パートずつ消去することができます。  
USBメモリー内の曲を消去する場合は57ページを参照してください。

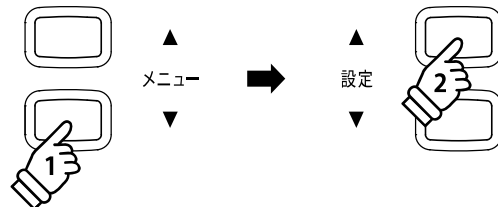
#### 1. 消去モードに入る

[録音] ボタンと[再生/停止] ボタンを同時に押します。  
[録音] ボタンと[再生/停止] ボタンが点滅して、現在選ばれているメモリー番号とパート番号が消去画面に表示されます。



#### 2. 消去したいソングとパートを選ぶ

[メニュー] ボタンを押して消去したいソング番号1~3を選びます。

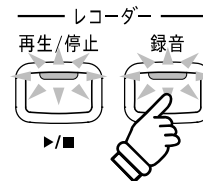
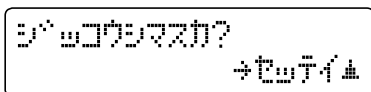


[設定] ボタンを押して、消去したいパート番号を、1、2、1&2(曲全体)から選びます。

\* 録音されているパートは、'\*'マークが表示されます。

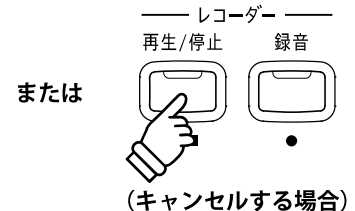
#### 3. 消去する

[録音] ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。



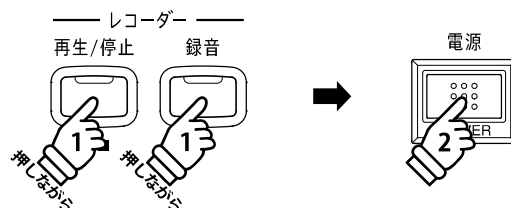
[設定▲] ボタンを押すと、選択したソング/パートの消去を実行し、再生画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、[再生/停止] ボタンを押します。



#### ■ すべてのソングを消去する

[再生/停止] ボタンと[録音] ボタンを押しながら電源を入れてください。



# USBレコーダー

## 1 オーディオファイルを録音する

MP3やWAV形式で、USBメモリーにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、様々な使い方ができます。

### ■ オーディオ録音フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz、16bit、ステレオ	192 kbit/s(固定)
WAV	44.1 kHz、16bit、ステレオ	1,411 kbit/s

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

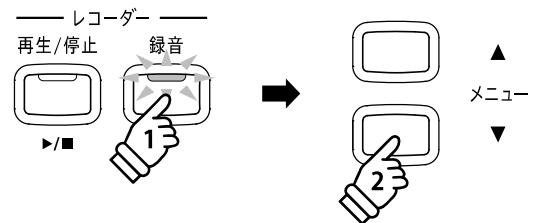
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT.

### 1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

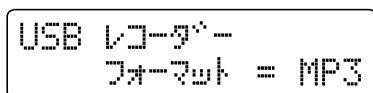
[録音]ボタンを押してボタンを点滅させ、[メニュー▼]ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー(ファイル形式選択)画面が表示されます。



### 2. ファイル形式を選ぶ

[設定]ボタンを押して、録音したいファイル形式(MP3またはWAV)から選びます。



\* MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリーの容量を必要としません。

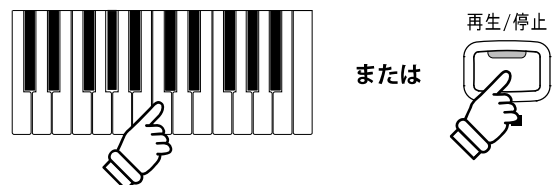
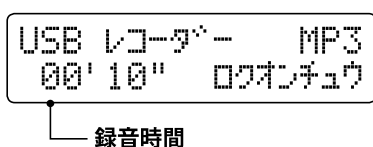
\* 1Gバイトのメモリーの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

### 3. 録音を開始する

演奏を始めます。

[録音]ボタンと[再生/停止]ボタンが点灯して、録音が始まります。

録音時間がディスプレイに表示されます。



\* 曲の始めに休みを入れたい場合は、[再生/停止]ボタンを押して録音を開始することもできます。

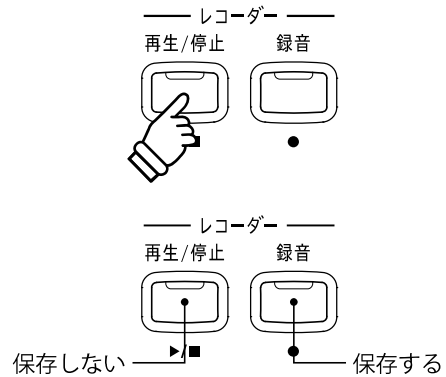
## 4. 録音を停止して保存する

演奏が終わったら[再生/停止]ボタンを押して録音を終了します。[再生/停止]ボタンと[録音]ボタンが消灯し録音が停止します。

録音した演奏をUSBメモリーに保存するか決めます。保存する場合は[録音]ボタンを、保存しない場合は[再生/停止]ボタンを押してください。

USBへ保存しますか?  
はい→録音 いいえ→停止

[録音]ボタンを押すと次へ進みます。[再生/停止]ボタンを押した場合、録音結果は破棄されます。

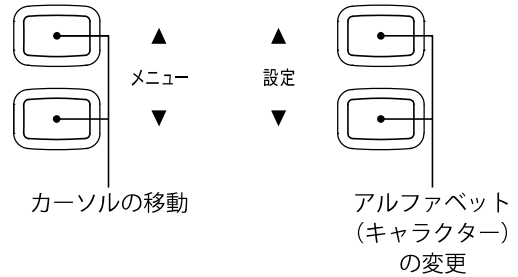


## 5. ファイル名をつける

[録音]ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

ファイル名: →録音  
Jazzy Tune MP3

[メニュー]ボタンを押してカーソルを移動し、[設定]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

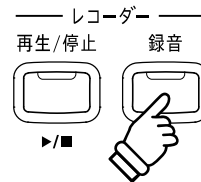


[録音]ボタンを押すと、編集したファイル名でオーディオファイルに保存されます。

ディスプレイにUSBレコーダー画面が表示され、再生待機状態になります。

Jazzy Tune.MP3  
00'00" Vol.=5

USBレコーダーの再生については、45ページを参照してください。



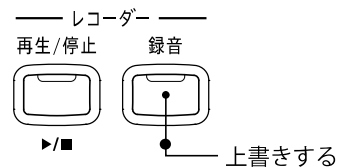
- \* 初期ファイル名には、“Audio-000.MP3”、“Audio-000.WAV”のように、自動的に新たな番号がつけられています。
- \* ファイル名は最大11文字です。
- \* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。
- \* ラインインの音は録音されません。

## ■ ファイルの上書きについて

編集したファイル名のファイルがすでにある場合は、ディスプレイに、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

上書きしますか?  
はい→録音 いいえ→停止

[録音]ボタンを押すと上書きされます。[再生/停止]ボタンを押した場合は、ファイル名編集画面へ戻ります。





## 2 オーディオファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMP3やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。

本格的なバックিংトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いて、コードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

### ■ オーディオ再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ	8~320 kbit/s
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz、モノ/ステレオ、16bit	—

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.  
MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT.

### ■ USBメモリーの準備

まず、用意したMP3またはWAVファイルをUSBメモリーへコピーします。

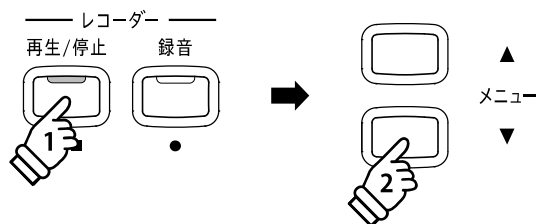


\* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

### 1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

[再生/停止] ボタンを押して、[メニュー▼] ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。



ディスプレイにUSBレコーダー(ファイルリスト)画面が表示されます。

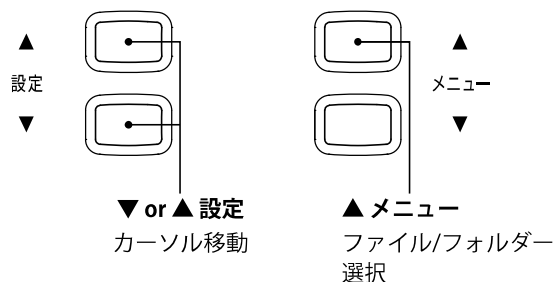
### ■ ファイルリスト画面表示について

ファイルリスト画面は、USBメモリーに保存されているファイルとフォルダーをリスト表示します。

▶は、選択中のファイル/フォルダーを示すカーソルです。  
< >は、フォルダー名です。

ファイルリスト画面は次のようになります。

実際に表示されるのは2行までですが、下記のイラストは、カーソルより上の表示イメージを拡張しています。



\* フォルダはリストのトップに、ファイルはアルファベット順に配置されます。

\* USBレコーダーでは、MP3、WAV、MIDファイルのみリストに表示されます。

\* ファイル名は、最大11文字まで表示され、それ以降は表示されません。

## 2. ファイルを選び再生を開始する

[設定]でファイルを選び、[メニュー▲]ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。

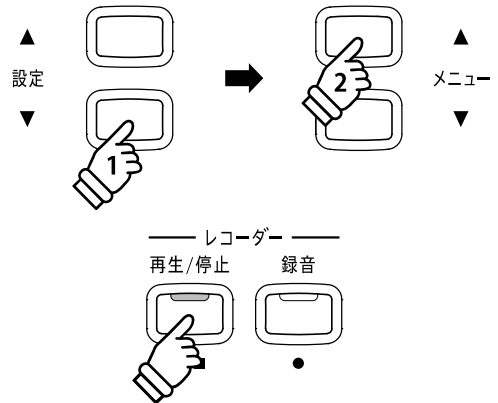


[再生/停止]ボタンを押します。

[再生/停止]ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。

### <チェイン再生>

[再生/停止]ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のファイルをアルファベット順に順次再生します。



\* ID3タグ等、CN340GPが認識可能なアーティスト名や曲名情報は、ファイル名に続いてディスプレイの1行目に表示されます。

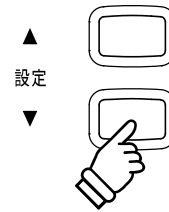
\* ファイル名やID3タグに日本語表記が使用されている場合は、正しく表示されません。

## ■ 再生の音量を調整する

再生中に、[設定]ボタンを押して音量を調節します。

\* 音量は、1~10の範囲で設定できます。

\* 一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器(ピアノ)はダイナミックレンジ幅が大きい為、普通に録音した波形は小さくなります。そこに大きな音量差が生まれるため、音量調整やデフォルトの音量設定が必要になります。



## 3. レコーダーモードを終わる

[USB]ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。



# 3 MIDIファイルを聴く

USBメモリーに保存されたMIDIファイルを再生できます。

お手持ちのSMF形式のMIDIファイルを、CN340GPの『プログレッシブハーモニックイメージング(PHI)音源』で聴くことができます。

## ■ MIDIファイル再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様
MID	フォーマット0、フォーマット1
KSO	内部ソングフォーマット

## ■ USBメモリーの準備

まず、用意したMIDIファイルをUSBメモリーへコピーします。

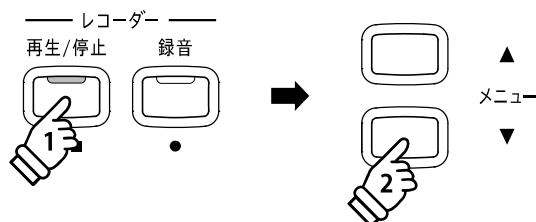
\* USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。



### 1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

[再生/停止] ボタンを押して、[メニュー▼] ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。



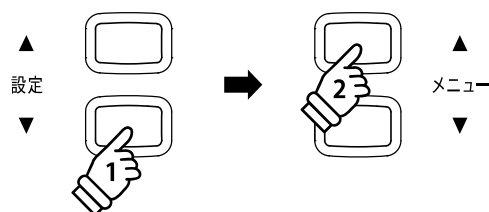
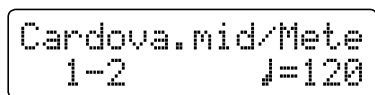
ディスプレイにUSBレコーダー(ファイルリスト)画面が表示されます。

\* ファイルリスト画面については、45ページを参照してください。

### 2. ファイルを選び再生を開始する

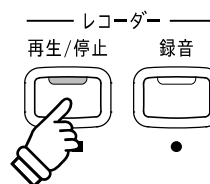
[設定] ボタンでファイルを選び、[メニュー▲] ボタンを押して決定します。

ディスプレイに再生画面が表示されます。



[再生/停止] ボタンを押します。

[再生/停止] ボタンが点灯し、選んだファイルの再生が始ります。



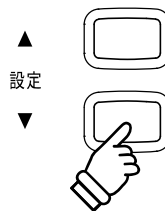
#### <チェイン再生>

[再生/停止] ボタンを長押しすると、ボタンが点滅し「チェイン再生」が始ります。チェイン再生は、選んだファイルの再生の後、現在のフォルダー内のファイルをアルファベット順に順次再生します。

## ■ 再生のテンポを調整する

再生中に、[設定]ボタンを押してテンポを調節します。

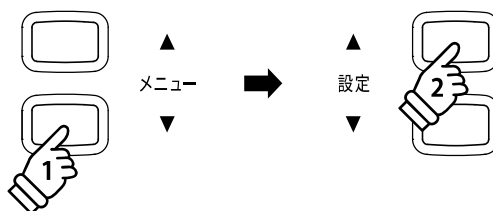
\* 再生テンポは、10～400の範囲で設定できます。



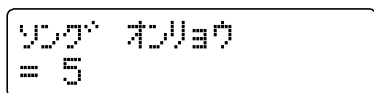
## ■ 再生の設定を変更する

ソング音量、ソングトランスポーズ、マイナスインパートを変更します。

再生中に[メニュー]ボタンを押して、目的の設定のページを選びます。



[設定]ボタンを押して、設定を変更します。



[メニュー▲]と[メニュー▼]ボタンを同時に押して、再生画面へ戻ります。

- \* ソング音量は、1～10の範囲で選ぶことができます。
- \* ソングトランスポーズは、±12半音で変更できます。
- \* マイナスインパートは、パート1～16、オフを選べます。

## 3. レコーダーモードを終わる

[USB]ボタンを押すと、レコーダーモードを終了し、通常の演奏画面に戻ります。



## 4 内部ソングをオーディオファイルにする

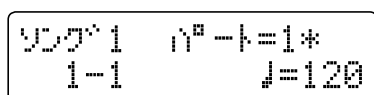
内部メモリーに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリーへ録音することができます。

### 1. 内部ソングを選ぶ

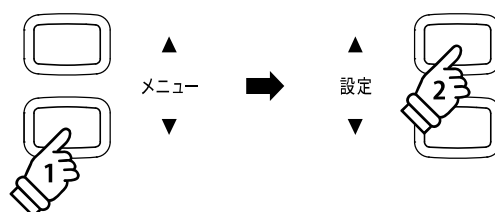
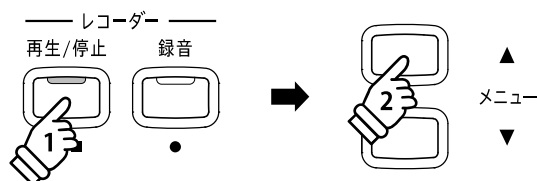
USBメモリーを接続してください。

[再生/停止]ボタンを押して、[メニュー▲]ボタンを押して、「Int.レコーダー」を選びます。

ディスプレイにInt.(内部ソング)レコーダー画面が表示されます



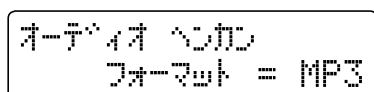
[メニュー]ボタンで、再生する内部ソングを選びます。



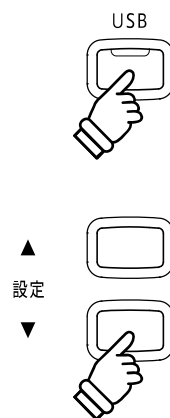
### 2. オーディオ変換機能を選ぶ

[USB]ボタンを押します。

ディスプレイにオーディオ変換画面が表示されます。



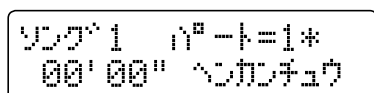
[設定]ボタンを押して、変換したいファイル形式(MP3またはWAV)から選びます。



### 3. 変換を開始する

[再生/停止]ボタンを押すと、変換が始まります。

ディスプレイに変換状態が表示されます。



\* 鍵盤を弾いた音もオーディオファイルへ録音されます。

\* 再生が終わると変換は終了し、自動的に保存の確認画面が表示されます。

### 4. ファイル名をつけて保存する

44ページを参照してください。

## 5 USBメモリー内のファイルを消去する

USBメモリー内のMP3/WAVファイルやMIDIソングファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

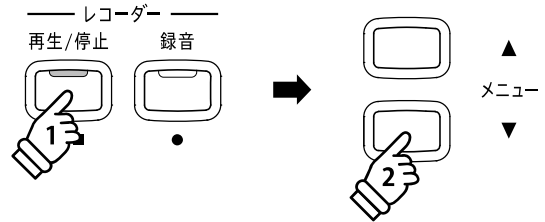
### 1. USBレコーダーに入る

USBメモリーを接続してください。

[再生/停止]ボタンを押して、[メニュー▼]ボタンを押して、「USBレコーダー」を選びます。

ディスプレイにUSBレコーダー(ファイルリスト)画面が表示されます。

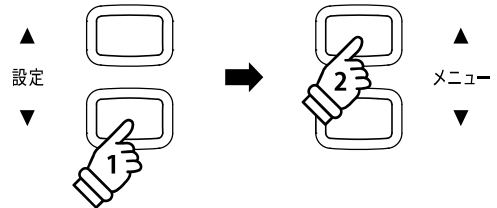
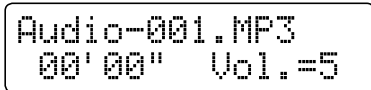
\* ファイルリスト画面については、45ページを参照してください。



### 2. ファイルを選ぶ

[設定]ボタンでファイルを選び、[メニュー▲]ボタンを押して決定します。

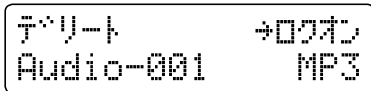
ディスプレイに再生画面が表示されます。



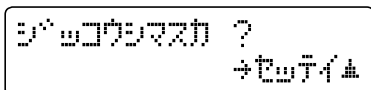
### 3. 消去モードに入る

[録音]ボタンと[再生/停止]ボタンを同時に押します。

[録音]ボタンと[再生/停止]ボタンが点滅して、消去画面が表示されます。

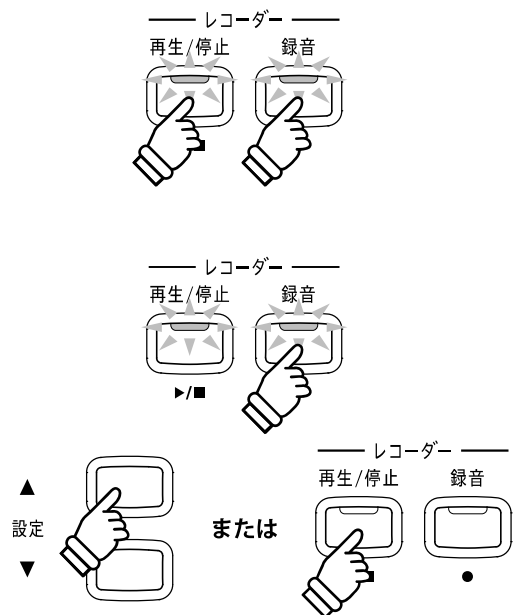


[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。



[設定▲]ボタンを押すと、選択したファイルの消去を実行し、ファイルリスト画面へ戻ります。

キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。



# USBメモリーの接続

この楽器にはUSB [TO DEVICE] 端子があります。USB [TO DEVICE] 端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

## ■ 使用できるUSB機器

---

USB対応の記憶装置(USBメモリー、フロッピーディスクドライブ)動作確認済みUSB機器については、ご購入の前に弊社ホームページにてご確認ください。動作確認済み以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボード、ハブなど)は、接続しても使えません。

## ■ USB機器の接続

---

USB [TO DEVICE] 端子には、USBフロッピーディスクドライブを接続できますが、フロッピーディスクドライブは、USBレコーダーでのMP3/WAV録音には使用できません。SMF/内部ソングでの保存で使用できます。

## ■ USB記憶装置のフォーマット

---

USB記憶装置の中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB [TO DEVICE] 端子にUSB記憶装置を接続したとき(またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき)に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください(58ページ)。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

他の機器で使ったUSBメモリーには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

## ■ USB記憶装置の抜き差し

---

USB記憶装置を外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

\* CN340GPを起動中にUSBメモリーが差し込まれると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

\* USBメモリーが差し込まれた状態で電源スイッチを押して起動すると、USBメモリーによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

# USBメニューについて

USBメモリーを接続して、本体に録音したデータをUSBメモリーに保存したり、USBメモリーをフォーマットするなどの操作を行います。

## ■ USBメニューの内容

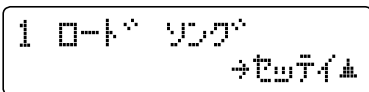
ページ	項目	内容
1	ロードソング	USBメモリー内の内部フォーマットソングを本機のメモリーに読み込みます。
2	セーブSMFソング	本体に録音した曲を、パソコンなどで再生可能なSMFでUSBメモリーに保存します。
3	セーブソング	本体に録音した曲を、再ロード可能な内部フォーマットでUSBメモリーに保存します。
4	リネーム	USBメモリー内のファイル名を変更します。
5	デリート	USBメモリー内のファイルを消去します。
6	フォーマット	USBメモリーを初期化します。

### 1. USBメニューへ入る

USBメモリーを接続してください。

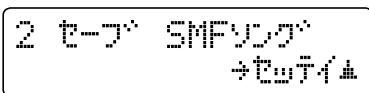
[USB] ボタンを押します。

[USB] ボタンが点灯し、USBモードのメニューリスト画面が表示されます。

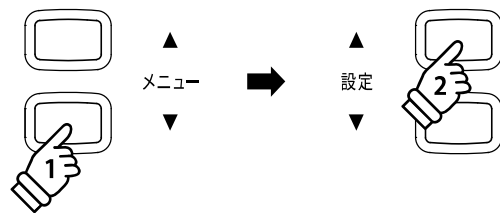


### 2. USBメニューの機能を選ぶ

[メニュー] ボタンを押して、目的のUSBメニューの機能ページを選びます。



[設定▲] ボタンを押して、決定します。



### 3. USBメニューを終わる

[USB] ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。





# 1 内部ソングをロードする

USBメモリーを接続して、USBメモリー内の本機でセーブした曲を読み込む(ロードする)ことができます。  
読み込んだ曲はCN340GPで再生することができます。

## 1. 内部ソングロード機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[メニュー]ボタンで、「ロードソング」を選び、[設定▲]ボタンを押して、内部ソングのロード機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

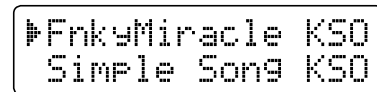
\*ファイルリスト画面については、45ページを参照してください。



## 2. ロードするファイルを選ぶ

[設定]ボタンでファイルを選び、[メニュー▲]ボタンを押して決定します。

ディスプレイにロード先指定画面が表示されます。



## 3. ロード先の内部メモリーを指定する

[設定]ボタンでロード先のメモリー番号を指定します。

\*すでに録音されているソングには、「\*」マークがついています。



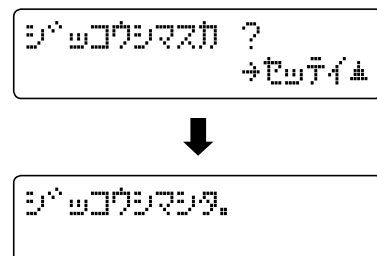
## 4. ロードする

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[設定▲]ボタンを押すと、選択したファイルのロードを実行します。

キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。

ロードした曲を聞くときは、40ページを参照してください。



## 5. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

## 2 SMF (MIDIファイル)形式で保存する

内部レコーダーに録音した曲を、SMF形式でUSBメモリーに保存します。

### 1. SMFセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[メニュー]ボタンで、「セーブ SMFソング」を選び、[設定▲]ボタンを押して、SMFソングのセーブ機能を選びます。

ディスプレイにソング選択画面が表示されます。

2 セーブ SMFソング  
→セッテイム



セーブ SMFソング →ロクオン  
= Song1\*

### 2. 保存したいソングを選ぶ

[設定]ボタンで保存したいソングを選びます。

[録音]ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

セーブ SMFソング →ロクオン  
= Song3\*



ファイルネー4: →ロクオン  
Song-000 MID

### 3. ファイル名をつける

[メニュー]ボタンを押してカーソルを移動し、[設定]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

\* ファイル名は最大11文字です。

\* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

ファイルネー4: →ロクオン  
Streetlife MID

### 4. 保存する

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[設定▲]ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。

ジッコウシマスカ ?  
→セッテイム



ジッコウシマスカ。

### 5. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

# 3 内部ソング形式で保存する

内部レコーダーに録音した曲を、内部ソング形式でUSBメモリーに保存します。

## 1. 内部ソングセーブ機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[メニュー]ボタンで、「セーブソング」を選び、[設定▲]ボタンを押して、内部ソングのセーブ機能を選びます。

ディスプレイにソング選択画面が表示されます。

3 セーブソング  
→セッテイム



セーブソング →ロクオン  
= Song1\*

## 2. 保存したいソングを選ぶ

[設定]ボタンで保存したい内部ソングメモリーを選びます。

[録音]ボタンを押すと、ファイル名の編集画面が表示されます。

セーブソング →ロクオン  
= Song3\*



ファイルネ-4: →ロクオン  
Song-000 K50

## 3. ファイル名をつける

[メニュー]ボタンを押してカーソルを移動し、[設定]ボタンを押して、ファイル名をつけます。

\* ファイル名は最大11文字です。

\* ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

ファイルネ-4: →ロクオン  
Streetlife K50

## 4. 保存する

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[設定▲]ボタンを押すと、ファイルの保存を実行します。キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。

ジッゴウシマスカ ?  
→セッテイム



ジッゴウシマスカ。

## 5. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

## 4 ファイル名を変更する

USBメモリー内のファイル名を変更することができます。

### 1. リネーム機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB] ボタンを押します。

[メニュー] ボタンで、「リネーム」を選び、[設定▲] ボタンを押して、ファイル名の変更(リネーム)機能を選びます。

ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

\* ファイルリスト画面については、45ページを参照してください。

4 リネーム → 設定▲



▶ Audio-002	MP3
Audio-003	MP3

### 2. リネームしたいファイルを選ぶ

[設定] ボタンでファイルを選び、[メニュー▲] ボタンを押して決定します。

ディスプレイにファイル名の編集画面が表示されます。

▶ Audio-003	MP3
Audio-004	MP3

### 3. ファイル名をつける

[メニュー] ボタンを押してカーソルを移動し、[設定] ボタンを押して、ファイル名をつけます。

\* ファイル名は最大11文字です。

ファイルネー4:	→ OK
James' G	MP3

### 4. リネームを実行する

[録音] ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[設定▲] ボタンを押すと、選択したファイルのリネームを実行します。

キャンセルしたい場合は、[再生/停止] ボタンを押します。

ジュークボックスか ? → 設定▲



ジュークボックス。

### 5. USBメニューを終わる

[USB] ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

# 5 ファイルを消去する

USBメモリー内のファイルを消去することができます。一度USBメモリーから消去したファイルは、回復できません。

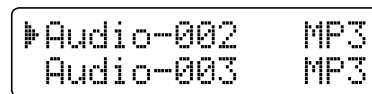
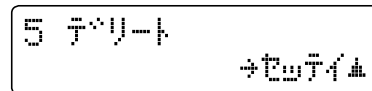
## 1. デリート機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[メニュー]ボタンで、「デリート」を選び、[設定▲]ボタンを押して、ファイルの消去(デリート)機能を選びます。

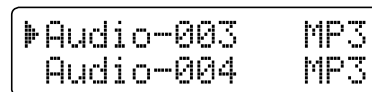
ディスプレイにファイルリスト画面が表示されます。

\* ファイルリスト画面については、45ページを参照してください。



## 2. デリートしたいファイルを選ぶ

[設定]ボタンでファイルを選び、[メニュー▲]ボタンを押して決定します。

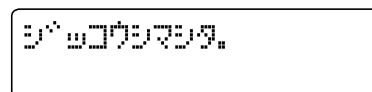
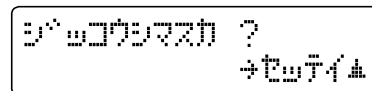


## 3. デリートを実行する

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。

[設定▲]ボタンを押すと、選択したファイルのデリートを実行します。

キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。



## 4. USBメニューを終わる

[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

## 6 フォーマット(初期化)する

接続したUSBメモリーをフォーマットすることができます。



フォーマットを実行するとUSBメモリー内のデータがすべて消去されますので、十分ご注意ください。

### 1. フォーマット機能を選ぶ

USBメモリーを接続し、[USB]ボタンを押します。

[メニュー]ボタンで、「フォーマット」を選び、[設定▲]ボタンを押して、USBメモリーのフォーマット機能を選びます。

ディスプレイに確認のメッセージが表示されます。

6 フォーマット  
→EwTei



フォーマット ?  
Nイ→ロクオン イイE→テイシ

### 2. 確認する

[録音]ボタンを押すと、次の確認画面へ進みます。

[再生/停止]ボタンを押した場合は、フォーマットはキャンセルされます。

### 3. フォーマットを実行する

[設定▲]ボタンを押すと、フォーマットを実行します。  
キャンセルしたい場合は、[再生/停止]ボタンを押します。

ジウゴウシマスカ ?  
→EwTei



フォーマットチュウ... 30%



ジウゴウシマシタ。

### 4. USBメニューを終わる

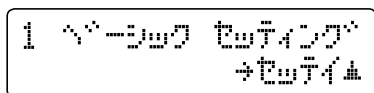
[USB]ボタンを押すと、USBメニューを終了し、通常の演奏画面に戻ります。

# 設定メニューについて

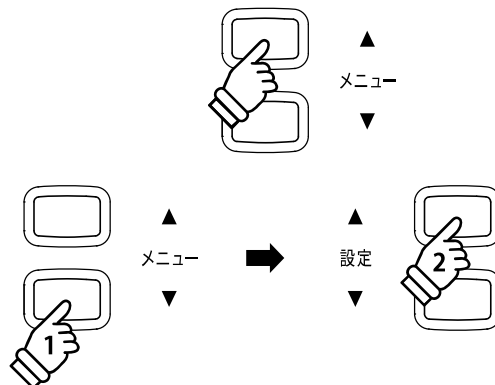
設定メニューでは、演奏を楽しむためのさまざまな設定ができます。

## ■ 設定メニューへ入る

通常の演奏画面で[メニュー]ボタンを押すと、メニューリスト画面が表示されます。



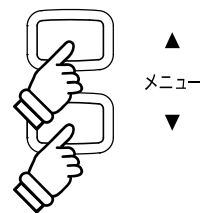
[メニュー]ボタンを押して、目的のメニューを選びます。  
[設定▲]ボタンを押すと、そのメニューの設定画面へ入ります。



## ■ 設定メニューを終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、メニューリスト画面に戻ります。

再度[メニュー]ボタンを同時に押すと、通常の演奏画面へ戻ります。



## ■ 設定メニュー一覧

### 1. ベーシックセッティング

イコライザー、スピーカー音量、ヘッドホン音量、  
ラインアウト音量、録音レベル、チューニング、  
ダンパーホールド、4ハンズ、ユーザーメモリー、  
ファクトリーリセット、表示言語

### 3. キーセッティング

ローオクターブシフト、ローペダルオン/オフ、  
レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、

### 5. 電源セッティング

オートパワーオフ

### 2. コンサートチューナー

ダンパーレゾナンス、ストリングレゾナンス、  
キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、音律、  
音律の主音

### 4. MIDIセッティング

MIDIチャンネル、プログラムチェンジ送信、  
ローカルコントロール、プログラムチェンジ送信オン/オフ、  
マルチティンバーモード、チャンネルミュート

様々な設定を操作する

# ベーシックセッティング

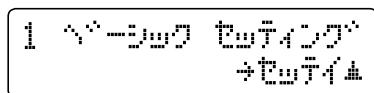
ベーシックセッティングでは通常演奏時に関わる設定を操作したり、各種設定を保存したりすることができます。

## ■ ベーシックセッティングの内容と工場出荷時の設定

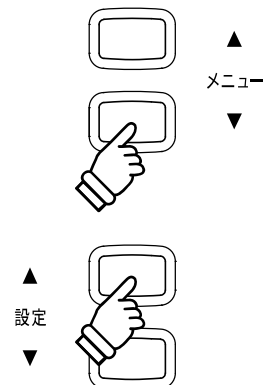
ページ	項目	内容	初期設定
1-1	イコライザー	全体の音質を変えます。	オフ
1-2	スピーカー音量	スピーカー出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-3	ヘッドホン音量	ヘッドホン出力の最大音量を変えます。	ノーマル
1-4	ラインアウト音量	ラインアウト出力のレベルを調節します。	10
1-5	録音レベル	MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを調節します。	0dB
1-6	チューニング	0.5Hz単位で、ピッチを調節します。	440.0Hz
1-7	ダンパーホールド	オルガンやストリングスの音へのサスティンペダルの効果を選びます。	オフ
1-8	4ハンズモード	「4ハンズモード」をオン/オフします。	オフ
1-9	ユーザーメモリー	電源オン時の設定として、パネル設定を保存します。	—
1-10	ファクトリーリセット	工場出荷時の状態へ戻します。	—
1-11	表示言語	ディスプレイに表示される言語を選びます。	ニホンゴ

## ■ ベーシックセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「ベーシックセッティング」を選びます。

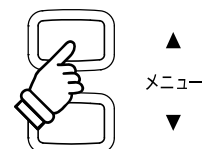
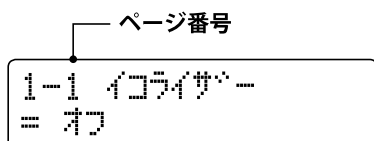


[設定▲]ボタンを押すと、「ベーシックセッティング」の設定画面へ入ります。



## ■ 変更したい項目を選ぶ

ベーシックセッティング画面で[メニュー]ボタンを押し、変更したい項目を選びます。





# 1-1 全体の音質を変える(イコライザー)

イコライザーによって演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。イコライザーの種類は以下のようになっています。

## ■ イコライザーの種類

種類	効果
オフ	イコライザーはかかりません。
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
バスブースト	低音を強調した音質です。
トレブルブースト	高音を強調した音質です。
ミッドカット	やわらかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。

### 1. イコライザーの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、イコライザーの設定ページを選びます。

1-1 イコライザー  
= オフ

### 2. イコライザーの種類を変更する

[設定]ボタンを押すと、イコライザーの種類が変更されます。

- \* イコライザーの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* イコライザーの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-1 イコライザー  
= オフ



1-1 イコライザー  
= バスブースト

### 3. イコライザーの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、イコライザーの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## ■ ユーザーEQ設定項目

周波数帯域	内容
ロー	低音域をブースト/カットします。
ミッドロー	中低音域をブースト/カットします。
ミッドハイ	中高音域をブースト/カットします。
ハイ	高音域をブースト/カットします。

### 1. ユーザーEQ設定へ入る

イコライザーの設定ページで[設定]ボタンを押して、「ユーザー」を選びます。

```
1-1 イコライザー  
= ユーザー
```

[メニュー▲]ボタンを押すと、ユーザーEQの設定ページが表示されます。

```
1-1 ユーザー EQ  
= 0 dB
```

### 2. ユーザーEQを設定する

[メニュー]ボタンを押して、設定したい周波数帯域を選びます。

```
1-1 ユーザー EQ  
= 0 dB
```

[設定]ボタンを押して、選んだ周波数帯域を調節します。

```
1-1 ユーザー HI  
= +6 dB
```

\* 各帯域は、-6dB~+6dBの範囲で調節できます。

### 3. ユーザーEQ設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ユーザーEQの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# 1-2 スピーカー音量

初期設定は、『ノーマル』になっています。『チイサイ』に設定すると、スピーカーの最大音量が小さくなります。大きな音量が必要ない場合は、この設定にすることで、より細かく音量調整することが可能となります。

\* この設定は、ヘッドホン出力やラインアウトには効きません。

## ■ スピーカー音量の設定

種類	内容
ノーマル(初期設定)	通常の音量でスピーカーが鳴ります。
チイサイ	小さい音量でスピーカーが鳴ります。

### 1. スピーカー音量の設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、スピーカー音量の設定ページを選びます。

1-2 スピーカーオン/オフ  
= ノーマル

### 2. スピーカー音量の設定を変更する

[設定]ボタンを押し、スピーカー音量の「ノーマル」と「チイサイ」を選択します。

- \* スピーカー音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* スピーカー音量の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-2 スピーカーオン/オフ  
= ノーマル



1-2 スピーカーオン/オフ  
= チイサイ

### 3. スピーカー音量の設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、スピーカー音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 1-3 ヘッドホン音量

初期設定は、『ノーマル』になっています。『オオキイ』に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

\* この設定は、スピーカー出力やラインアウトには効きません。

### ■ ヘッドホン音量の設定

種類	内容
ノーマル(初期設定)	通常の音量でヘッドホンが鳴ります。
オオキイ	大きい音量でヘッドホンが鳴ります。

#### 1. ヘッドホン音量の設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ヘッドホン音量の設定ページを選びます。

1-3 ヘッドホンボリューム  
= ノーマル

#### 2. ヘッドホン音量の設定を変更する

[設定]ボタンを押し、ヘッドホン音量の「ノーマル」と「オオキイ」を選択します。

\* ヘッドホン音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* ヘッドホン音量の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-3 ヘッドホンボリューム  
= ノーマル



1-3 ヘッドホンボリューム  
= オオキイ

#### 3. ヘッドホン音量の設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ヘッドホン音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# 1-4 ラインアウト音量

ラインアウトの音量を調節します。

ラインアウト音量と全体音量(→12ページ)は独立して効きますので、PA機器に接続した場合など、ライン出力と内蔵スピーカーのモニター音量をそれぞれ調節することができます。

\*この設定は、スピーカー/ヘッドホン出力には効きません。

## 1. ラインアウト音量の設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ラインアウト音量の設定ページを選びます。

1-4 ラインアウトオンリョウ  
= 10

## 2. ラインアウト音量の設定を変更する

[設定]ボタンを押して、ラインアウト音量を調節します。

\*ラインアウト音量は、0~10の範囲で調節できます。

\*ラインアウト音量の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\*ラインアウト音量の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-4 ラインアウトオンリョウ  
= 10



1-4 ラインアウトオンリョウ  
= 3

## 3. ラインアウト音量の設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ラインアウト音量の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

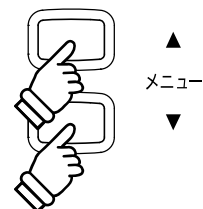
## ■ 演奏中のラインアウト音量の調節

演奏中などに素早くラインアウト音量を調節したい場合は、次の手順で調節します。

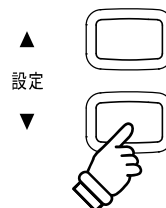
通常画面で[メニュー]ボタンを同時に押すと、ラインアウト音量調節画面が表示されます。

[設定]ボタンを押して、ラインアウト音量を調節します。

音色ボタンを押すか、そのまま数秒すると元の画面へ戻ります。



ラインアウトオンリョウ  
= 10



# 1-5 オーディオ録音レベル

一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に波形が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器(ピアノ)はダイナミックレンジ幅が大きい為、普通に録音した波形は小さくなります。ここでは、MP3/WAVオーディオレコーダーの録音レベルを+15dBまで上げることができます。

## 1. オーディオ録音レベルの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、オーディオ録音レベルの設定ページを選びます。

1-5 オーディオ レベル  
= 0 dB

## 2. オーディオ録音レベルの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、オーディオ録音レベルを調節します。

- \* オーディオ録音レベルは、0~+15dBの範囲で調節できます。
- \* オーディオ録音レベルを上げると、大きな音やフォルティッシモでの演奏で録音が歪むことがありますのでご注意ください。
- \* オーディオ録音レベルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* オーディオ録音レベルの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-5 オーディオ レベル  
= 0 dB



1-5 オーディオ レベル  
= +10 dB

## 3. オーディオ録音レベルの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、オーディオ録音レベルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# 1-6 チューニング

チューニングとは他の楽器とピッチ(音程)を合わせるときに行います。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

## 1. チューニングの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、チューニングの設定ページを選びます。

1-6 チューニング  
= 440.0 Hz

## 2. チューニングの設定を変更する

[設定]ボタンを押し、チューニングを、0.5Hz単位で調節します。

- \* チューニングは、427.0Hzから453.0Hzの範囲で調節できます。
- \* チューニングの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* チューニングの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-6 チューニング  
= 440.0 Hz



1-6 チューニング  
= 437.5 Hz

## 3. チューニングの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、チューニングの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 1-7 ダンパーホールドのON/OFF

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色(鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色)に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離れた後も音を持続させる機能です。

### ■ ダンパーホールドの設定

種類	内容
オフ(初期設定)	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後、音が減衰します。
オン	ダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離れた後も音が持続します。

#### 1. ダンパーホールドの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ダンパーホールドの設定ページを選びます。

1-7 ダンパーホールド  
= オフ

#### 2. ダンパーホールドの設定を変更する

[設定]ボタンを押し、ダンパーホールドをオン/オフします。

\* ダンパーホールドの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* ダンパーホールドの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-7 ダンパーホールド  
= オフ



1-7 ダンパーホールド  
= オン

#### 3. ダンパーホールドの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ダンパーホールドの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。



# 1-8 4ハンズモードのON/OFF

4ハンズモードのオン/オフができます。4ハンズモードの操作は[スプリット]ボタンとペダルを使って入ったときと同様です。初期設定ではスプリットポイントはF3(ファ)に設定されています。

\* 4ハンズモードについては、19ページを参照してください。

## ■ 4ハンズモードの設定

種類	内容
オフ(初期設定)	4ハンズモードをオフします。
オン	4ハンズモードをオンします。

### 1. 4ハンズモードの設定に入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、4ハンズモードの設定ページを選びます。

1-8 4ハンズモード  
= オフ

### 2. 4ハンズモードの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、4ハンズモードをオン/オフします。

\* 4ハンズモードをオンにすると、[スプリット]ボタンが点滅します。

\* 4ハンズモードの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* 4ハンズモードの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

1-8 4ハンズモード  
= オフ



1-8 4ハンズモード  
= オン

### 3. 4ハンズモードの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、4ハンズモードの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# 1-9 ユーザーメモリーの使い方

自分の好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。その操作をユーザーメモリーと言います。記憶される内容は以下のとおりです。

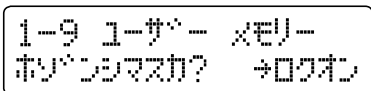
## ■ ユーザーメモリーに記憶される内容

パネル	設定メニュー
音色(デュアル・スプリットの音色設定を含む)	ベーシックセッティング
スプリットポイント	コンサートチューナー
リバーブ、エフェクト	キーセッティング
タッチ、トランスポーズ(キートランスポーズのみ)	MIDIセッティング
メトロノーム設定	

\* 電源セッティングは自動的に記憶されます。

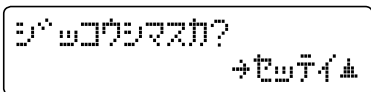
### 1. ユーザーメモリー機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ユーザーメモリー機能ページを選びます。



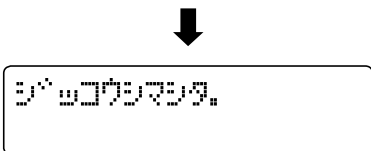
### 2. ユーザーメモリーに保存する

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。  
[設定▲]ボタンを押すと、保存を実行します。



保存が終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

\* 電源セッティングは、ユーザーメモリーには記憶されません。  
電源オフ時に、自動的に記憶されます。



# 1-10 ファクトリーリセットの使い方

ファクトリーリセットを行うとユーザーメモリーで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。

\* この機能は、レコーダーの内容は消去しません。

## 1. ファクトリーリセット機能を選ぶ

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ファクトリーリセット機能ページを選びます。

1-10 ファクトリー リセット  
リセットしますか? →ロクオン

## 2. リセットを実行する

[録音]ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。  
[設定▲]ボタンを押すと、リセットを実行します。

ジッゴウシマスカ?  
→セツテイ

リセットが終わると、自動的に通常の演奏画面へ戻ります。

\* レコーダーのデータを全て消去して購入時の状態に戻すには42ページを参照してください。

ジッゴウシマシタ。

# 1-11 表示言語の設定

ディスプレイに表示される言語を日本語と英語の2言語より選択できます。

## 1. 表示言語の設定ページに入る

ベーシックセッティング画面(→60ページ)で[メニュー]ボタンを押し、表示言語の設定ページを選びます。

1-11 ヒョウシゴケンゴ  
= ニホンゴ

## 2. 表示言語を選択する

[設定]ボタンを押して、日本語か英語かを選びます。

1-11 Language  
= English

## 3. 表示言語の設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、表示言語の設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

コンサート クラント<sup>1</sup>

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# コンサートチューナー

ピアノ調律師はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

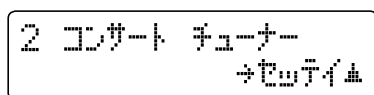
「コンサートチューナー」はこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

## ■ コンサートチューナーの内容と工場出荷時の設定

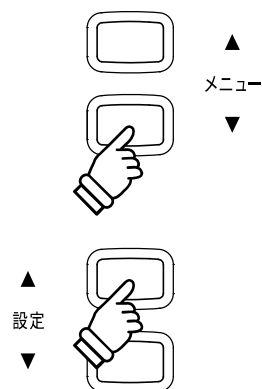
ページ	項目	内容	初期設定
2-1	ダンパーレゾナンス	ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果音の量を調整します。	5
2-2	ストリングレゾナンス	ピアノの弦の共鳴効果音の量を調整します。	5
2-3	キーオフエフェクト	ピアノの鍵盤を強く弾いてから離れたときのダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。	5
2-4	キーアクションノイズ	鍵盤のアクションが戻るときの音の音量を調整します。	5
2-5	音律の設定	音律を選択します。	平均律(ピアノ)
2-6	音律の主音の設定	平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。	C

## ■ コンサートチューナーへ入る

メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「コンサートチューナー」を選びます。

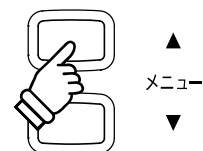
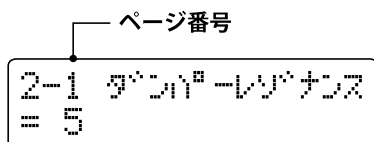


[設定▲]ボタンを押すと、「コンサートチューナー」の設定画面へ入ります。



## ■ 変更したい項目を選ぶ

コンサートチューナー画面で[メニュー]ボタンを押し、変更したい項目を選びます。



# 2-1 ダンパーレゾナンス

ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を調整することができます。

\* ダンパーレゾナンスはピアノ音色にのみ効果があります。

## 1. ダンパーレゾナンスの設定に入る

コンサートチューナー画面(→72ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ダンパーレゾナンスの設定ページを選びます。



2-1 ダンパーレゾナンス  
= 5

## 2. ダンパーレゾナンスの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、ダンパーレゾナンスの設定を選びます。

- \* ダンパーレゾナンスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
- \* ダンパーレゾナンスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* ダンパーレゾナンスの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)



2-1 ダンパーレゾナンス  
= 5



2-1 ダンパーレゾナンス  
= 2

## 3. ダンパーレゾナンスの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ダンパーレゾナンスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。



## 2-3 キーオフエフェクト

キーオフエフェクトは、特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離れたときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

\* キーオフエフェクトは、ピアノ音色にのみ効果があります。

### 1. キーオフエフェクトの設定に入る

コンサートチューナー画面(→72ページ)で[メニュー]ボタンを押し、キーオフエフェクトの設定ページを選びます。

2-3 キーオフエフェクト  
= 5

### 2. キーオフエフェクトの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、キーオフエフェクトの設定を選びます。

2-3 キーオフエフェクト  
= 5

\* キーオフエフェクトは、オフ、1～10の範囲で調節できます。

\* キーオフエフェクトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* キーオフエフェクトの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)



2-3 キーオフエフェクト  
= 10

### 3. キーオフエフェクトの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、キーオフエフェクトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 2-4 キーアクションノイズ

鍵盤を離れたときの、鍵盤アクションが戻った時に発生する音をシミュレートしたものです。この音量をお好みに合わせて調整することができます。

\* キーアクションノイズは、ピアノ音色にのみ効果があります。

### 1. キーアクションノイズの設定に入る

コンサートチューナー画面(→72ページ)で[メニュー]ボタンを押し、キーアクションノイズの設定ページを選びます。

2-4 キーアクションノイズ  
= 5

### 2. キーアクションノイズの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、キーアクションノイズの設定を選びます。

2-4 キーアクションノイズ  
= 5

\* キーアクションノイズは、オフ、1~10の範囲で調節できます。

\* キーアクションノイズの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* キーアクションノイズの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)



2-4 キーアクションノイズ  
= オフ

### 3. キーアクションノイズの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、キーアクションノイズの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。



## 2-5 音律の設定

CN340GPではピアノの調律法として最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律にも設定することができます。

### ■ 音律の種類

音律名	音律の説明
平均律(ピアノ) (Equal P.only)	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律(フラット)に従います。
純正律(長調/短調) (Pure Major/minor)	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
ピタゴラス音律 (Pythagorean)	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
中全音律 (Meantone)	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第三法 (Werkmeister) キルンベルガー第三法 (Kirnberger)	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した“調性の性格”を反映することのできる調律法です。
平均律(フラット) (Equal Flat)	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特徴があります。
平均律 (Equal Stretch)	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。

### 1. 音律の設定に入る

コンサートチューナー画面(→72ページ)で[メニュー]ボタンを押し、音律の設定ページを選びます。

2-5 オンリツ セツテイ  
= ハイキンリツ(ヒ<sup>♯</sup>アリ)

### 2. 音律の設定を変更する

[設定]ボタンを押して、音律の設定を選びます。

\* 音律の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* 音律の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

2-5 オンリツ セツテイ  
= ハイキンリツ(ヒ<sup>♯</sup>アリ)



2-5 オンリツ セツテイ  
= チュウセ<sup>♯</sup>ンオンリツ

## 2-6 音律の主音の設定

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。演奏する曲の調号に合わせて。この機能は「純正律(長調/短調)」「ピタゴラス音律」「中全音律」「ヴェルクマイスター第三法」「キルンベルガー第三法」が選ばれている時のみディスプレイに表示されます。

### ■ 音律の主音の設定を変更する

音律で「純正律(長調/短調)」「ピタゴラス音律」「中全音律」「ヴェルクマイスター第三法」「キルンベルガー第三法」が選ばれている時に、[メニュー]ボタンを押して、音律の主音の設定ページを選びます。

[設定]ボタンを押して、音律の主音を変更します。

\* 音律の主音は、C(ド)音からB(シ)音の12音の範囲で選びます。

2-6 オンリツ シュオン  
= C



2-6 オンリツ シュオン  
= F

# キーセッティング

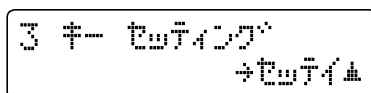
キーセッティングではデュアル演奏やスプリット演奏時における、音色のオクターブ設定やダンパーの設定を行います。

## ■ キーセッティングの内容

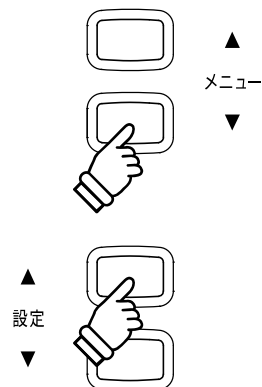
ページ	種類	説明	初期設定
3-1	ローオクターブ	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のピッチをオクターブ単位で上げます。	0
3-2	ローペダル	スプリット演奏時、低音側の鍵盤のペダル機能をオン/オフします。	オフ
3-3	レイヤーオクターブ	デュアル演奏時、重ねる音色のピッチをオクターブ単位で上げ下げします。	0
3-4	レイヤーダイナミクス	デュアル演奏時、重ねる音色のタッチ変化を調整します。	10

## ■ キーセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「キーセッティング」を選びます。

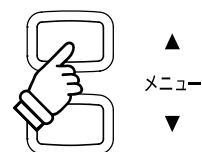
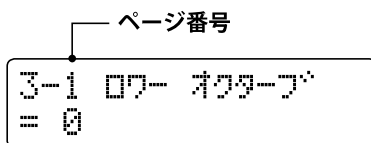


[設定▲]ボタンを押すと、「キーセッティング」の設定画面へ入ります。



## ■ 変更したい項目を選ぶ

キーセッティング画面で[メニュー]ボタンを押し、変更したい項目を選びます。



## 3-1 ロワーオクターブシフト

ローワーオクターブシフトとは、スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。

### 1. ロワーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティング画面(→79ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ローワーオクターブシフトの設定ページを選びます。

3-1 ロー オクターブ  
= 0

### 2. ロワーオクターブシフトの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、ローワーオクターブシフトを設定します。

- \* 低音側の鍵盤のピッチを3オクターブまで上げることができます。
- \* ロワーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* ロワーオクターブシフトの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

3-1 ロー オクターブ  
= 0



3-1 ロー オクターブ  
= +3

### 3. ロワーオクターブシフトの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ローワーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 3-2 ローペダルのON/OFF

スプリット演奏時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン/オフを設定できます。高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

### ■ ローペダルの設定

種類	内容
オフ(初期設定)	低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。
オン	ペダルを踏んで演奏したときに低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。

#### 1. ローペダルの設定に入る

キーセッティング画面(→79ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ローペダルの設定ページを選びます。

3-2 ロー ペダル  
= オフ

#### 2. ローペダルの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、ローペダルをオン/オフします。

\* ローペダルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* ローペダルの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

3-2 ロー ペダル  
= オフ



3-2 ロー ペダル  
= オン

#### 3. ローペダルの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ローペダルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 3-3 レイヤーオクターブシフト

レイヤーオクターブシフトとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色(レイヤー音色：ディスプレイの2行目に表示されている音色)の音域をオクターブ単位で移動することです。

例えば「コンサートグランドピアノ1」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて(あるいは下げて)演奏することができます。

### 1. レイヤーオクターブシフトの設定に入る

キーセッティング画面(→79ページ)で[メニュー]ボタンを押し、レイヤーオクターブシフトの設定ページを選びます。

3-3 レイヤー オクターブ  
= 0

### 2. レイヤーオクターブシフトの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、レイヤーオクターブシフトを設定します。

- \* レイヤー音色のピッチを上下2オクターブまで変更することができます。
- \* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* レイヤーオクターブシフトの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

3-3 レイヤー オクターブ  
= 0



3-3 レイヤー オクターブ  
= +2

### 3. レイヤーオクターブシフトの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、レイヤーオクターブシフトの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 3-4 レイヤーダイナミクス

レイヤーダイナミクスとはデュアル演奏で2つの音色を重ねて弾くときに、片側の音色(レイヤー音色：ディスプレイの2行目に表示されている音色)のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、「コンサートグランドピアノ1」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、通常の設定ではどちらの音色も同じように強弱が変化しますが、「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

### 1. レイヤーダイナミクスの設定に入る

キーセッティング画面(→79ページ)で[メニュー]ボタンを押し、レイヤーダイナミクスの設定ページを選びます。

```
3-4 レイヤー ダイナミクス  
= 10
```

### 2. レイヤーダイナミクスの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、レイヤーダイナミクスの設定を選びます。

- \* レイヤーダイナミクスは、オフ、1～10の範囲で調節できます。
- \* レイヤーダイナミクスの設定内容は、電源を切るまで保持されます。
- \* レイヤーダイナミクスの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

```
3-4 レイヤー ダイナミクス  
= 10
```



```
3-4 レイヤー ダイナミクス  
= 5
```

### 3. レイヤーダイナミクスの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、レイヤーダイナミクスの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# MIDIセッティング

## MIDIについて

MIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするための世界統一規格です。

### ■ MIDI端子の種類

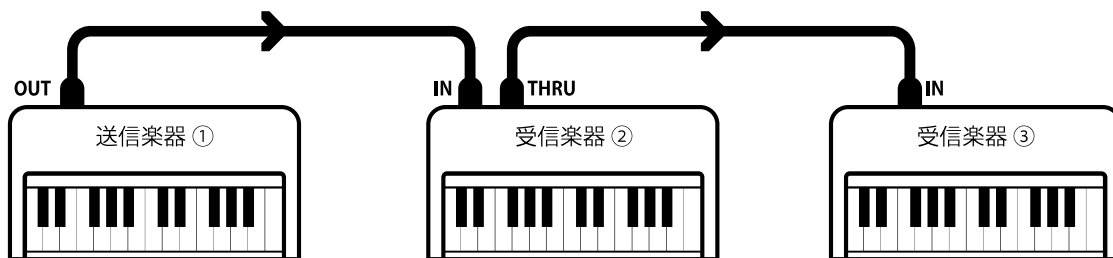
MIDI端子名	機能
MIDI IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
MIDI OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

### ■ MIDIチャンネルについて

MIDIにはチャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの2種類があり、通常 MIDI機能をもった楽器はこの両者を備えています。

受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば3台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



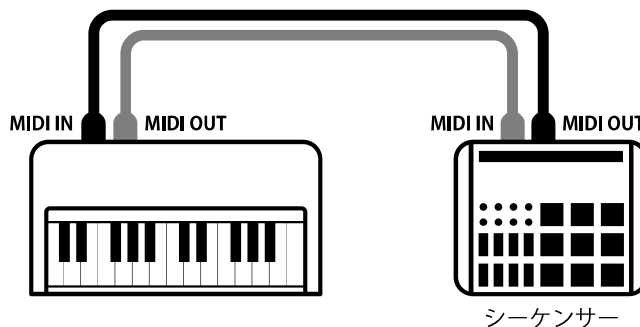
送信楽器①は送信チャンネルと共に鍵盤情報などを受信楽器②・③に送ります。

受信楽器②・③には①からの情報が送られてきます。基本的には受信楽器②・③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。

チャンネル番号は、送信/受信とも1～16までの番号を使用することができます。

### ■ MIDIの使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、CN340GPの演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、CN340GPの設定をマルチティンバーオンにして録音/再生を行えば、ピアノ、ハーブシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。





## ■ MIDI機能

CN340GPのMIDI機能は以下の通りです。

### 鍵盤情報の送信・受信

CN340GPを弾いてMIDIで接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

### プログラム(音色)ナンバーの送信

CN340GPを弾いてMIDIで接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

### 送信・受信チャンネルの設定

送信受信チャンネルを1~16の範囲で設定することができます。

### ペダル情報の送信・受信

ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのON/OFF情報の送信・受信ができます。

### エクスクルーシブデータの送信・受信

フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

### ボリューム情報の受信

シンセサイザー等を弾いて、CN340GPの音を出しているとき、シンセサイザーでCN340GPの音量をコントロールすることができます。

### マルチティンバーの設定

CN340GPが受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

\* CN340GPのMIDI機能についての詳細は、「MIDIインプリメンテーションチャート」(106ページ)をご覧ください。

## ■ MIDIセッティングの内容

ページ	変更項目	内容	初期設定
4-1	MIDIチャンネル	MIDI送受信チャンネルを設定します。	1
4-2	プログラムナンバー送信	1~128のプログラムチェンジを送信します。	1
4-3	ローカルコントロール	本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定します。	オン
4-4	プログラムナンバー送信のオン/オフ	音色を変更した時にプログラムチェンジを送信するか・しないかを設定します。	オン
4-5	マルチティンバーモード	複数のMIDIチャンネルを受信して異なる音色を同時に出すことができます。	オフ
	チャンネルミュート	MIDIチャンネル毎に、受信するか・しないかを設定します。	全てプレイ

## ■ MIDIセッティングへ入る

メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「MIDIセッティング」を選びます。

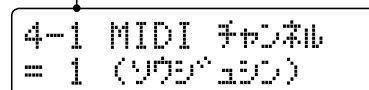


4 MIDI セッティング  
→セッティング

[設定▲]ボタンを押すと、「MIDIセッティング」の設定画面へ入ります。

## ■ 変更したい項目を選ぶ

MIDIセッティング画面で[メニュー]ボタンを押し、変更したい項目を選びます。



ページ番号  
4-1 MIDI チャンネル  
= 1 (ソウジューション)

## 4-1 MIDI送受信チャンネル

接続されたMIDI楽器とさまざまな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの2種類がありますが、CN340GPでは送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

### 1. MIDI送受信チャンネルの設定に入る

MIDIセッティング画面(→84ページ)で[メニュー]ボタンを押し、MIDI送受信チャンネルの設定ページを選びます。

4-1 MIDI チャンネル  
= 1 (ソウジューション)

### 2. MIDI送受信チャンネルの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、MIDIチャンネルを変更します。

\* MIDIチャンネルは、1～16チャンネルから選ぶことができます。

\* MIDIチャンネルの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* MIDIチャンネルの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

4-1 MIDI チャンネル  
= 1 (ソウジューション)



4-1 MIDI チャンネル  
= 5 (ソウジューション)

### 3. MIDI送受信チャンネルの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、MIDIチャンネルの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

### ■ オムニオン/オムニオフについて

CN340GPは電源オン時には、1～16のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで1chに設定したい場合は、一度チャンネルを2に設定してから1に戻してください。

### ■ マルチティンバーモードがオンのとき

#### スプリット演奏時

低音側の演奏は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信されます。

例えば、ここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

#### デュアル演奏時

第2音色は、設定したチャンネル+1チャンネルで送信されません。

例えば、ここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、デュアル演奏の第2音色の演奏は4チャンネルで送信されます。

\* チャンネルを 16 に設定した場合は、1チャンネルで送信します。

## 4-2 プログラムナンバー送信

CN340GPでは1~128までのプログラムナンバーを送信することができます。

### 1. プログラムナンバー送信ページに入る

MIDIセッティング画面(→84ページ)で[メニュー]ボタンを押し、プログラムナンバー送信ページを選びます。

```
4-2 プログラム#ソウシ  
= 1          →セッテイ+▲
```

### 2. プログラムナンバーを送信する

[設定]ボタンを押して、プログラムナンバーを選びます。

\*プログラムナンバーは、1~128から選ぶことができます。

2つの[設定]ボタンを同時に押すと、プログラムナンバーの送信が実行されます。

```
4-2 プログラム#ソウシ  
= 1          →セッテイ+▲
```



```
4-2 プログラム#ソウシ  
= 15       ソウシシマシタ。
```

### 3. プログラムナンバー送信を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、プログラムナンバー送信を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 4-3 ローカルコントロール

このモードは本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。

### ■ ローカルコントロールの設定

種類	内容
オフ	鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけでMIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。
オン(初期設定)	通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

#### 1. ローカルコントロールの設定に入る

MIDIセッティング画面(→84ページ)で[メニュー]ボタンを押し、ローカルコントロールの設定を選びます。

4-3 ローカルコントロール  
= オン

#### 2. ローカルコントロールの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、ローカルコントロールをオン/オフします。

\* ローカルコントロールの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* ローカルコントロールの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

4-3 ローカルコントロール  
= オン



4-3 ローカルコントロール  
= オフ

#### 3. ローカルコントロールの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、ローカルコントロールの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

## 4-4 プログラムナンバー送信のON/OFF

CN340GPでは音色を切り替えることにより、各音色に対応する送受信プログラムナンバーを送信します。  
また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDIエクスクルーシブデータとして送信することができます。

### ■ プログラムナンバー送信の設定

プログラム送信設定	マルチティンバー設定	内容
オン(初期設定)	オフ、オン1	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン	オン2	音色を変更すると、音色リストの右列のプログラムナンバーを送信します。
オフ	オフ	プログラムチェンジは送信されません。

\* 各音色に対応する送受信プログラムナンバーについては付録の一覧(99ページ)をご参照ください。

### 1. プログラムナンバー送信の設定に入る

MIDIセッティング画面(→84ページ)で[メニュー]ボタンを押し、プログラムナンバー送信の設定を選びます。

4-4 トランスフ<sup>®</sup>ログ<sup>®</sup>ラム  
= オン

### 2. プログラムナンバー送信の設定を変更する

[設定]ボタンを押して、プログラムナンバー送信をオン/オフします。

\* プログラムナンバー送信の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\* プログラムナンバー送信の設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

4-4 トランスフ<sup>®</sup>ログ<sup>®</sup>ラム  
= オン



4-4 トランスフ<sup>®</sup>ログ<sup>®</sup>ラム  
= オフ

### ■ デュアル・スプリットモードのときについて

- デュアル・スプリットモード時には、デュアル・スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。
- マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

## 4-5 マルチティンバーモード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル(1~16のどれか1つ)で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。

この機能により、外部にシーケンサーを使って、CN340GP 1台で複数の音色(マルチティンバー)によるアンサンブル演奏が可能です。

### ■ マルチティンバーモードの設定

種類	内容
オフ(初期設定)	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン1	音色を変更すると、音色リストの左列のプログラムナンバーを送信します。
オン2	音色を変更すると、音色リストの右列のプログラムナンバーを送信します。

\* 受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧(99ページ)をご参照ください。

#### 1. マルチティンバーモードの設定に入る

MIDIセッティング画面(→84ページ)で[メニュー]ボタンを押し、マルチティンバーモードの設定を選びます。

4-5 マルチティンバー  
= オフ

#### 2. マルチティンバーモードの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、マルチティンバーモードを設定します。

\* マルチティンバーモードの設定内容は、電源を切るまで保持されません。

\* マルチティンバーモードの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

4-5 マルチティンバー  
= オフ



4-5 マルチティンバー  
= オン1

#### 3. マルチティンバーモードの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すとマルチティンバーモードの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、この画面が表示されます。ここでは、各チャンネルのプレイ・ミュートが設定できます。

## ■ チャンネルミュートの設定

種類	内容
プレイ (初期設定)	指定されたMIDIチャンネルでMIDI情報を送信します。
ミュート	指定されたMIDIチャンネルはMIDI情報を送信しません。

### 1. チャンネルミュートの設定に入る

MIDIセッティング画面(→84ページ)で[メニュー]ボタンを押し、変更したいチャンネルのチャンネルミュートの設定ページを選びます。

4-5 チャンネル1 ミュート  
= プレイ

### 2. チャンネルミュートの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、「プレイ」「ミュート」を切り換えます。

\*チャンネルミュートの設定内容は、電源を切るまで保持されます。

\*チャンネルミュートの設定内容は、ユーザーメモリーに保存することができます。(→70ページ)

4-5 チャンネル1 ミュート  
= プレイ



4-5 チャンネル1 ミュート  
= ミュート

### 3. チャンネルミュートの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、チャンネルミュートの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# USB MIDIについて (to HOST端子)

## ■ USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア (USB-MIDIドライバー) がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

OS	
Windows ME Windows XP (SPなし, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 Windows 7 64-bit	Windowsに搭載されている標準USB-MIDIドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこのUSB-MIDIドライバーがインストールされます。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとしてWindows ME / XP / XP 64bitの場合は「USBオーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bitの場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 SE Windows 2000 Windows Vista (SPなし)	指定の専用USB-MIDIドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。*Windows Vistaの場合は必ずXP互換モードでインストールしてください。 <a href="http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/">http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/</a> ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDIドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OSの「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDIドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit (SPなし)	USB-MIDIをサポートしておりません。SP1、またはSP2にアップグレードをしてください。
Macintosh OS X	Macintosh OS Xでは自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
OS9以前のMacintosh	OS9以前のMacintoshにはサポートしておりません。市販のMIDIインターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

## ■ USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。

デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。

「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」

お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

\* “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

\* Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。

\* Macintoshは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。

\* その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



# 電源オン/オフの設定

## 5-1 電源セッティング

CN340GPでは、何も動作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

### ■ 電源セッティングの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期値はオフに設定されています。
30min	30分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60min	60分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120min	120分何も動作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

### 1. 電源セッティングの設定に入る

メニューリスト画面に入った後、[メニュー]ボタンを押して「デンゲンセッティング」を選びます。




5 デンゲン セッティング  
→セッテイ▲

[設定▲]ボタンを押すと、「デンゲンセッティング」の設定画面へ入ります。

オートパワーオフの設定ページが表示されます。

### 2. 電源セッティングの設定を変更する

[設定]ボタンを押して、オートパワーオフの設定を変更します。



5-1 オートパワーオフ  
= オフ



5-1 オートパワーオフ  
= 60 min.

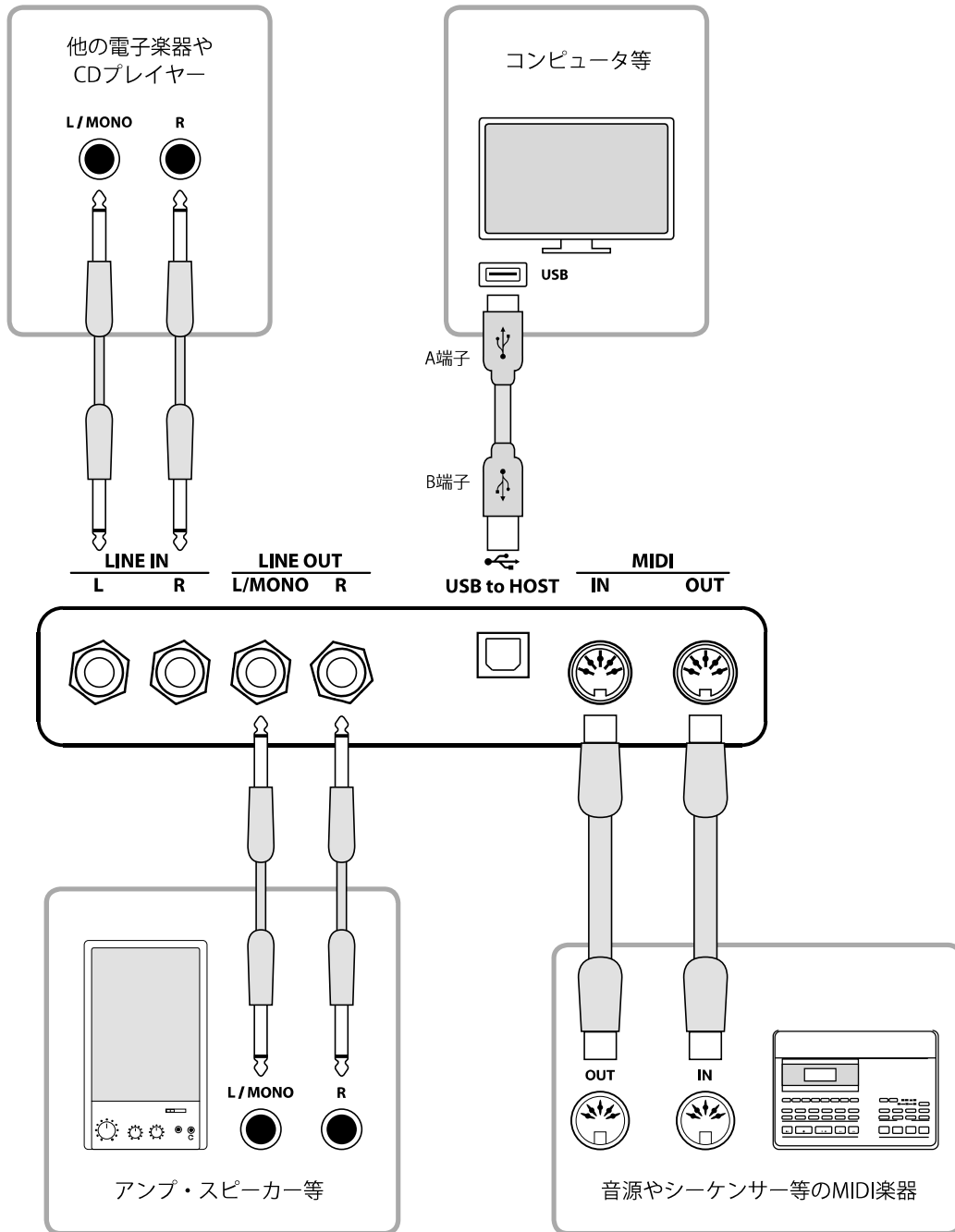
### 3. 電源セッティングの設定を終わる

2つの[メニュー]ボタンを同時に押すと、オートパワーオフの設定を終わりメニューリスト画面に戻ります。

または、音色ボタンを押すと、通常の演奏画面へ戻ります。

# 他の機器との接続

CN340GPの本体底面には、MIDI機器、コンピューター、スピーカー、およびミキサーと接続することができる各種の端子を搭載しています。また、外部のオーディオのソース(MP3プレーヤー、タブレット機器、CDプレーヤーなど)をCN340GPのスピーカーシステムと接続することができます。下図は、代表的な接続例です。



- 他の機器と接続する時はCN340GPの電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行くとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働き音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直して下さい。
- CN340GPのラインイン(LINE IN)とラインアウト(LINE OUT)を直接ケーブルで接続しないで下さい。発振音が発生し、故障の原因になります。

# 困ったときは？

	症状	考えられる原因と解決方法	参照ページ
電源	電源が入らない	電源コードが正しく接続されていますか？ コンセント側と本体側の両方をご確認ください。 接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。	P. 10
	電源が突然切れた	「オートパワーオフ」機能が設定されていませんか？ （「電源セッティング」をご確認ください。）	P. 93
発音	電源が入っているのに、音が出ない	音量が0になっていませんか？ ヘッドホンが接続されていませんか？ ローカルコントロールがオフになっていませんか？	P. 12 P. 12 P. 88
	特定の演奏、特定の音域で音が歪む	音量を大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。 ラインアウト端子を使って外部ミキサー等を使用している場合は、ベーシックセッティングの「ラインアウト音量」の設定を、使用する外部機器に合わせて調節してください。	P. 65
	特定のピアノ音色で異音やノイズが聴こえる	グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことで豊かな音色を実現しています。それらの響きの中には、金属的な音やノイズ系の音も含まれています。また1鍵1鍵異なる響きをもっています。本機はピアノに限りなく近い音を実現させているため、このような音も聴こえることがあります。これは異常ではありません。なお、本機はピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することが可能です。「コンサートチューナー」の下記の設定をご確認ください。 ノイズや金属的な音がする。→ダンパーレゾナンス P.73	P. 72
ペダル	高音でダンパーが効かない	ピアノにおいて、鍵盤G5(ソ)から最高音のC7(ド)には、「ダンパー」という止音装置が付いておりません。CN340GPではその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びますので、その場合は故障ではありません。	-
ヘッドホン	ヘッドホンの音量が小さい	ご使用のヘッドホンの仕様をご確認の上、ヘッドホンのインピーダンスが100Ω以下の場合、ベーシックセッティングの「ヘッドホン音量」を、「オオキイ」に設定してください。	P. 64
USB	USBメモリーが認識されない、または動作しない	動作確認されているUSBメモリーをご使用下さい。（弊社ホームページから使用できるUSB装置を確認出来ます。）	P. 51
	USBメモリーを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリーを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	P. 51
MP3/WAV/SMFオーディオ	曲(MP3,WAVE)を再生しても音が出ない	USB AUDIO PLAYERの音量が0になっていませんか？ 再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。「オーディオ再生フォーマット仕様」の表をご確認ください。	P. 46 P. 45
	USBメモリーに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。「オーディオ再生フォーマット仕様」の表をご確認ください。 お使いのUSBメモリーの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリーをお試してください。	P. 45 P. 51
	MP3/WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる(歪んでいる)	ベーシックセッティングの「オーディオ録音レベル」の設定を調節してください。	P. 66

# 音色デモ曲一覧

## ■ デモ曲

音色名	曲名	作曲者名
<b>コンサートピアノ</b>		
コンサートグランド 1	夢想	ドビュッシー
コンサートグランド 2	英雄ポロネーズ	ショパン
コンサートグランド 3	トルコ行進曲	モーツァルト
<b>スタジオピアノ</b>		
スタジオグランド 1	オリジナル	カワイ
スタジオグランド 2	オリジナル	カワイ
スタジオグランド 3	オリジナル	カワイ
スタジオグランド 4	オリジナル	カワイ
<b>メロウピアノ</b>		
メロウグランド 1	愛の夢	リスト
メロウグランド 2	トロイメライ	シューマン
メロウグランド 3	エリーゼのために	ベートーベン
<b>ジャズピアノ</b>		
ジャズグランド 1	オリジナル	カワイ
ジャズグランド 2	オリジナル	カワイ
ジャズグランド 3	エンターティナー	ジョブリン
<b>ポップピアノ</b>		
ポップグランド 1	オリジナル	カワイ
ポップグランド 2	オリジナル	カワイ
ポップグランド 3	オリジナル	カワイ
<b>エレクトリックピアノ</b>		
クラシックE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ	オリジナル	カワイ
<b>ストリングス</b>		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
シンセストリングス	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
<b>サウンドコレクション</b>		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
ドローバーオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲“目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
フルアンサンブル	オリジナル	カワイ
ハーブシコード	フランス組曲第6番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
クワイア 1	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア 2	オリジナル	カワイ
ファンタジー	オリジナル	カワイ
ウッドベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
W. ベース&シンバル	オリジナル	カワイ

# クラシカルピアノコレクション曲一覧

## ■ クラシカルピアノコレクション

ナンバー	曲名	作曲者
1	タンブラン	ラモー
2	調子のよいかじ屋	ヘンデル
3	メヌエット長調 (BWV.Anh.114)	バッハ
4	メヌエット短調 (BWV.Anh.115)	
5	メヌエット長調 (BWV.Anh.116)	
6	かっこう	ダカン
7	ガヴォット	ゴセック
8	メヌエット	ボッケリーニ
9	主題と変奏「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第1楽章	モーツァルト
10	トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第3楽章	
11	メヌエット	
12	ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章	ベートーベン
13	ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章	
14	エリーゼのために	
15	ロンド・ファヴォリ	フンメル
16	即興曲 作品90の4	シューベルト
17	楽興の時 作品94の3	
18	間奏曲	
19	即興曲 作品142の3	
20	歌の翼に	メンデルスゾーン
21	春の歌	
22	ロンド・カプリッチョーソ	
23	別れの曲	
24	雨だれの前奏曲	ショパン
25	子犬のワルツ	
26	ノクターン第2番	
27	幻想即興曲	
28	軍隊ポロネーズ	
29	英雄ポロネーズ	

# リスニングコレクション/レッスン曲集一覧

## ■ リスニングコレクション

ナンバー	曲名	作曲者
1	G線上のアリア	バッハ
2	平均律クラヴィーア曲集第1巻より “プレリュードハ長調”	
3	フランス組曲 第1番より “アルマンド”	
4	フランス組曲 第3番より “アルマンド”	
5	フランス組曲 第5番より “アルマンド”	
6	フランス組曲 第5番より “ガヴォット”	
7	フランス組曲 第6番より “アルマンド”	
8	イギリス組曲 第3番より “ガヴォット”	
9	ピアノソナタ第28番イ長調 Op.101 第1楽章	ベートーベン
10	ピアノソナタ第14番 “月光” 第1楽章	
11	ピアノソナタ第14番 “月光” 第2楽章	
12	ピアノソナタ第8番 “悲愴” 第2楽章	
13	6つの小品Op.118より 第2番 間奏曲 イ長調	ブラームス
14	ワルツ集 Op.39より 第15番 変イ長調	
15	ベルガマスク組曲より “月の光”	ドビュッシー
16	ベルガマスク組曲より “前奏曲”	
17	夢想	
18	3つの無言歌Op.17より 第3番 変イ長調	フォーレ
19	ノクターン第10番 ホ短調	フィールド
20	ノクターン第5番 変ロ長調	
21	無言歌集 第1巻より “甘い思い出” Op.19b-1	メンデルスゾーン
22	無言歌集 第8巻より “そよぐ風” Op.102-4	
23	ピアノソナタ イ長調 「トルコ行進曲付き」 K331 第1楽章	モーツァルト
24	ピアノソナタ ハ長調 K545 第3楽章	
25	ピアノソナタ ト長調 K283 第1楽章	
26	ピアノソナタ ト長調 K283 第2楽章	
27	ピアノソナタ ト長調 K283 第3楽章	
28	ピアノソナタ ヘ長調 K547a 第2楽章	
29	アヴェ・マリア	
30	謝肉祭より “ショパン”	シューマン
31	謝肉祭より “コケット”	
32	謝肉祭より 返事(応答)ースフィンクス	
33	幻想小曲集 Op.12より “夕べに”	
34	子供の情景 Op.15より “おねだり”	
35	子供の情景 Op.15より “トロイメライ”	
36	子供の情景 Op.15より “怖がらせ”	
37	子供の情景 Op.15より “見知らぬ国と人びとについて”	
38	子供の情景 Op.15より “満足”	
39	子供の情景 Op.15より “むきになって”	
40	子供の情景 Op.15より “眠っている子供”	
41	四季より “舟歌”(6月)	
42	くるみ割り人形より “アラビアの踊り”	

## ■ レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本 全曲(ただし予備練習、付録を除く) (カワイ出版)
2. ブルクミュラー25の練習曲 全曲 (カワイ出版)
3. チェルニー100番練習曲 全曲 (カワイ出版)
4. チェルニー30番練習曲 全曲 (カワイ出版)

# 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバー2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンクMSB	バンクLSB
<b>コンサートピアノ</b>				
コンサート グランド1	1	1	121	0
コンサート グランド2	2	1	95	16
コンサート グランド3	3	2	95	8
<b>スタジオピアノ</b>				
スタジオ グランド1	4	1	121	1
スタジオ グランド2	5	1	95	17
スタジオ グランド3	6	2	121	1
スタジオ グランド4	7	2	121	0
<b>メロウピアノ</b>				
メロウ グランド1	8	1	121	2
メロウ グランド2	9	1	95	18
メロウ グランド3	10	2	95	9
<b>ジャズピアノ</b>				
ジャズ グランド1	11	1	95	8
ジャズ グランド2	12	1	95	19
ジャズ グランド3	13	4	121	0
<b>ポップピアノ</b>				
ポップ グランド1	14	2	95	10
ポップ グランド2	15	2	95	13
ポップ グランド3	16	2	95	14
<b>エレクトリックピアノ</b>				
クラシック E.ピアノ	17	5	121	0
モダン E.ピアノ	18	6	121	0
60's E.ピアノ	19	5	121	3
クリスタル E.ピアノ	20	6	95	1
<b>ストリングス</b>				
スロー ストリングス	21	45	95	1
メロウ ストリングス	22	49	95	1
シンセ ストリングス	23	49	95	8
ストリング アンサンブル	24	49	121	0
<b>サウンドコレクション</b>				
ジャズ オルガン	25	18	121	0
ブルース オルガン	26	17	121	0
ドローパー オルガン	27	17	95	1
チャーチ オルガン	28	20	121	0
ディアパゾン	29	20	95	7
フル アンサンブル	30	21	95	1
ハーブシコード	31	7	121	0
ビブラホン	32	12	121	0
クラビ	33	8	121	0
クワイア 1	34	53	121	0
クワイア 2	35	54	95	53
ファンタジー	36	89	121	0
ウッド ベース	37	33	121	0
エレクトリック ベース	38	34	121	0
フレットレス ベース	39	36	121	0
W.ベース & シンバル	40	33	95	1

# リズム一覧

No.	リズム名
1	8ビート1
2	8ビート2
3	8ビート3
4	16ビート1
5	16ビート2
6	16ビート3
7	16ビート4
8	16ビート5
9	16ビート6
10	ロックビート1
11	ロックビート2
12	ロックビート3
13	ハードロック
14	ヘヴィビート
15	サーフロック
16	2ndライン
17	50ウェイズ
18	バラード1
19	バラード2
20	バラード3
21	バラード4
22	バラード5
23	ライトライド1
24	ライトライド2
25	スムーズビート
26	リムビート
27	スロージャム
28	ポップ1
29	ポップ2
30	エレクトロポップ1
31	エレクトロポップ2
32	ライドビート1
33	ライドビート2
34	ライドビート3
35	ライドビート4
36	スリッパビート
37	ジャズロック
38	ファンキービート1
39	ファンキービート2
40	ファンキービート3
41	ファンキー1
42	ファンキー2
43	ファンキー3
44	ファンクシャッフル1
45	ファンクシャッフル2
46	バズビート
47	ディスコ1
48	ディスコ2
49	ヒップホップ1
50	ヒップホップ2

No.	リズム名
51	ヒップホップ3
52	ヒップホップ4
53	テクノ1
54	テクノ2
55	テクノ3
56	ヘヴィテクノ
57	8シャッフル1
58	8シャッフル2
59	8シャッフル3
60	ブギ
61	16シャッフル1
62	16シャッフル2
63	16シャッフル3
64	Tシャッフル
65	トリプレット1
66	トリプレット2
67	トリプレット3
68	トリプレット4
69	トリプレットバラード1
70	トリプレットバラード2
71	トリプレットバラード3
72	モータウン1
73	モータウン2
74	ライドスウィング
75	H.H. スウィング
76	ジャズワルツ1
77	ジャズワルツ2
78	5/4スウィング
79	タムスウィング
80	ファースト4ビート
81	H.H. ボサノバ
82	ライドボサノバ
83	ビギン
84	マンボ
85	チャチャ
86	サンバ
87	ライトサンバ
88	スルドサンバ
89	ラテングループ
90	アフロキューバン
91	ソング
92	ベンベ
93	アフリカンベンベ
94	メレンゲ
95	レゲエ
96	タンゴ
97	ハバネラ
98	ワルツ
99	ラグタイム
100	カントリー&ウエスタン



# CN340GPの組み立て方

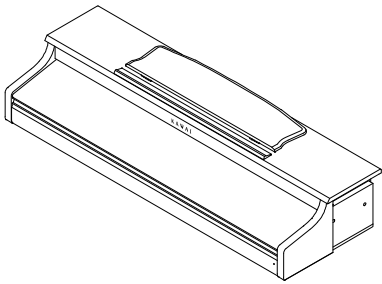


組立作業は必ず2人で行ってください。

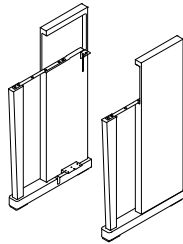
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

## ■ 部品の確認

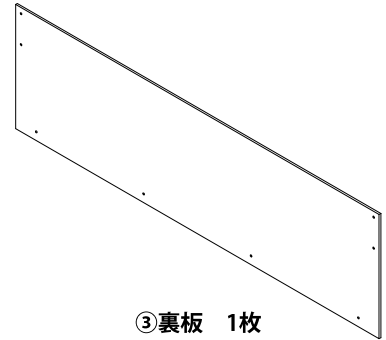
組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、+ドライバーをご用意下さい。



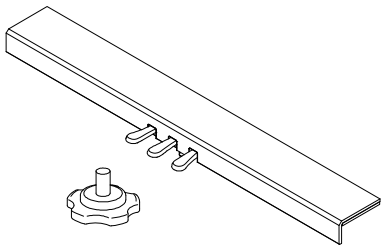
①本体



②側板 2枚(左右)



③裏板 1枚

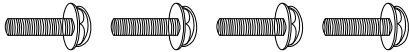


④ペダル土台 1個/ペダルアジャスター 1個

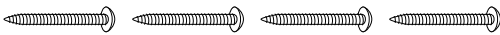


⑤電源コード 1本

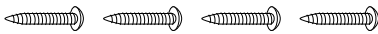
⑥ネジ(平ワッシャー・スプリングワッシャー付き) 4本



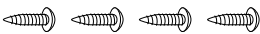
⑦タッピングネジ(黒長)4本



⑧タッピングネジ(黒中)4本



⑨タッピングネジ(銀短)4本



⑩ヘッドホンフックセット 1セット

ヘッドホンフック



ヘッドホンフック取付ネジ  
φ4×14(2本)



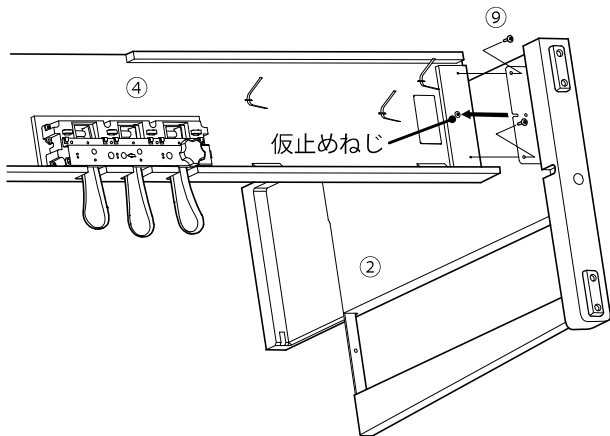
## 1. 「②側板」と「④ペダル土台、アジャスター」を組み立てる

「④ペダル土台」に結ばれているペダル接続コード(1箇所のみ)をほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。

「④ペダル土台」に仮止めされているネジを側板の金属の溝にはめ込み、「②側板」とペダル土台をぴったりと押しあてて仮止めねじを締めます。「②側板」は、左右あるので組み合わせに注意してください。残りのネジ穴に先の尖った銀色のネジ⑨で固定します。

### ここがポイント!

- ・側板(左/右)とペダル土台をしっかり密着させて下さい。



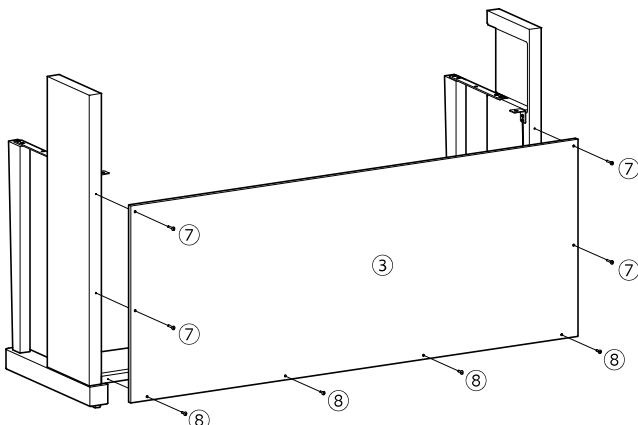
## 2. 「③裏板」を固定する

ペダル土台を下向きにして起こします。



このとき、床に楽譜や部品がないことを確認ください。

「③裏板」を「②側板」に取り付けます。「⑦タッピングネジ(黒長)」で裏板上部を固定します。次に4本の「⑧タッピングネジ(黒中)」で下部を固定します。この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。



## 3. 「①本体」と「②側板」を組み合わせる

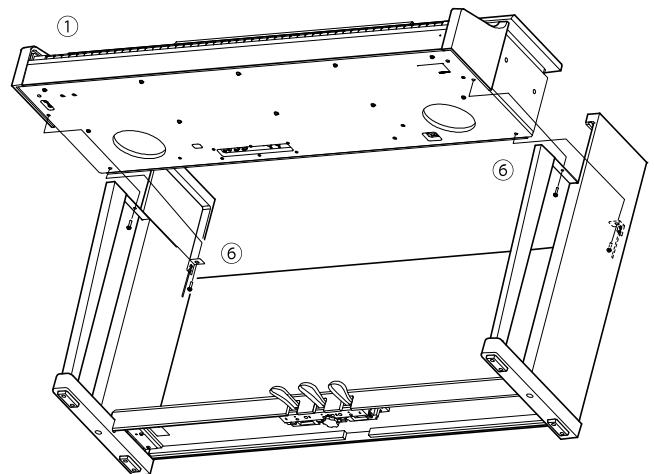
組み立てた側板を壁にそわせ、スタンドが後ろに動かないようにし、2人以上で十分注意しながら、「①本体」をゆっくりスライドして入れます(側板を壁に沿わせずに「①本体」を挿入する場合は、側板が後方に動かないよう、足で押さえながら作業してください)。



本体とスタンドの間で手をはさまないように注意してください。

本体と側板を「⑥ネジ(平ワッシャー・スプリングワッシャー付き)」4本で固定します。

まず、ネジを軽く締めて、4本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。この時、スプリングワッシャーがつぶれるまでしっかり締めてください。

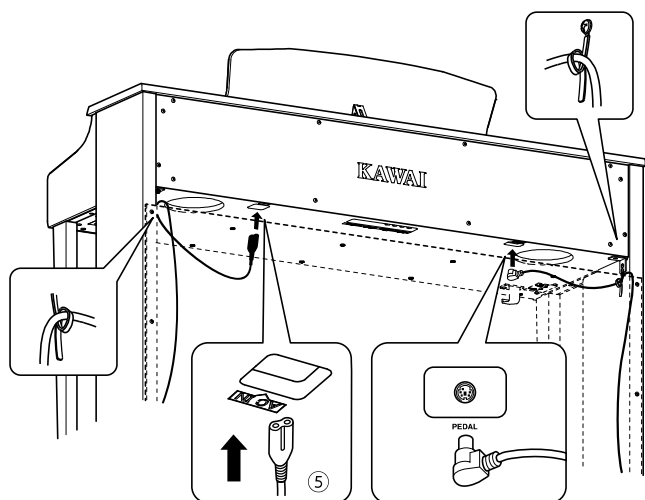


#### 4.コード類を接続する

ペダル土台から出ているペダル接続コードを本体のペダル端子に差し込み、コードが適当な位置になるような場所にコード類をコードクランプで固定します。「⑤電源コード」の端子をAC INに差し込み、裏板上の隙間よりプラグを後ろに通してください。

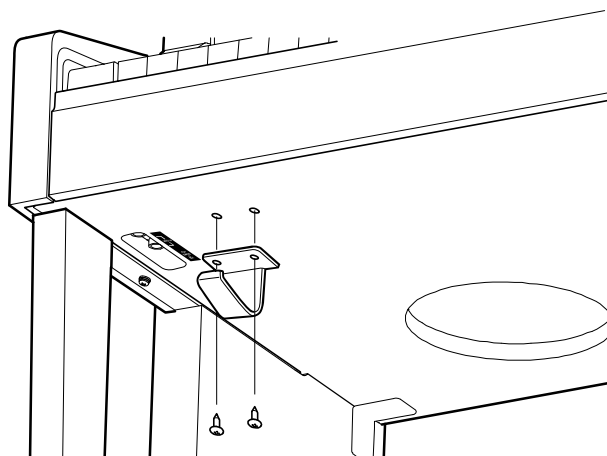
##### ここがポイント！

- 端子部の向きに注意して下さい。
- コネクターはまっすぐ差し込んで下さい。無理に押し込むと故障の原因になります。



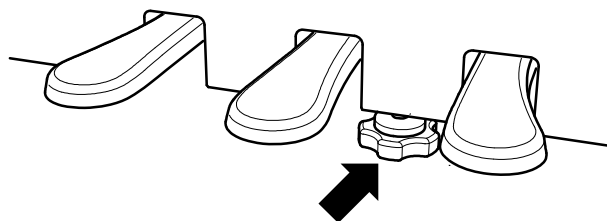
#### 5.ヘッドホンフックを取り付ける

ヘッドホンフックは同じ袋に入っている2本のタッピングネジで図の穴に固定してください。



#### 6.アジャスターを回す

ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。



アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。  
尚、移動の際は、引きずらないで、必ず床から持ち上げて移動してください。

# CN340GP仕様

鍵盤	88鍵 レスポンシブ・ハンマー・アクションII (RH II) アイボリータッチ、レットオフフィール	
音源	プログレッシブ・ハーモニック・イメージング (PHI) 88鍵ステレオサンプリング	
音色	ピアノ：	16音色
	その他：	24音色
同時発音数	最大256音 (音色により異なる)	
演奏モード	デュアル、スプリット、4ハンズ (連弾演奏) *音量バランス調整可	
リバーブ	タイプ：	ルーム、ラウンジ、スモールホール、コンサートホール、ライブホール、カテドラル
エフェクト	タイプ：	ステレオディレイ、ピンボンディレイ、トリプルディレイ、コーラス、クラシックコーラス、トレモロ、クラシクトレモロ、フェイザー、ロータリー1、ロータリー2、ロータリー3、コンピネーションエフェクトx2
コンサートチューナー	ダンパーレゾナンス、ストリングレゾナンス、キーオフエフェクト、キーアクションノイズ、音律の設定、音律の主音の設定	
タッチカーブ	ライト+, ライト、ノーマル、ヘビー、ヘビー+, オフ	
内部レコーダー	2パート x 3ソング、総記憶音数 約90,000音	
USBファンクション	再生：	MP3 (ビットレート：8k~320kbps、サンプリング周波数：44.1kHz、48kHz、32kHz)、WAV (44.1kHz、16bit)、SMF
	録音：	MP3 (ビットレート：192kbps固定、サンプリング周波数：44.1kHz)、WAV (44.1kHz、16bit)
	その他：	オーディオ変換、内部ソングセーブ/ロード、SMFセーブ、ファイルリネーム、ファイルデリート、フォーマット
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類、*ボリューム/テンポ調整可	
レッスン曲	281曲：	バイエル(126)、ブルクミュラー25(25)、チェルニー100(100)、チェルニー30(30)
音色デモ曲	全36曲	
ピアノ名曲	全71曲(クラシカルピアノコレクション29曲 + リスニングコレクション42曲)	
その他機能	キー/ソングトランスポーズ、イコライザー、スピーカー音量、ヘッドホン音量、ラインアウト音量、オーディオ録音レベル、チューニング、ダンパーホールド、4ハンズ、ユーザーメモリー、ファクトリーリセット、ローワーオクターブシフト、ローワーペダル、レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、MIDIチャンネル、プログラムナンバー送信、ローカルコントロール、プログラムチェンジ送信のON/OFF、マルチティンバーモード、チャンネルミュート、オートパワーオフ	
ペダル	ダンパー (ハーフペダル対応)、ソフト、ソステヌート	
キーカバー	スライド式	
譜面台	可倒式(角度調整機能：3段階)	
ディスプレイ	16文字 x 2行 液晶ディスプレイ(LCD)	
外部端子	ヘッドホン(2系統)、MIDI (IN, OUT)、USB端子 (TO HOST, TO DEVICE)、LINE OUT (L/MONO, R)、LINE IN (L/MONO, R)	
スピーカー	スピーカー：	16cm x 2
	出力：	20 W x 2
定格電圧	AC100V, 50/60Hz	
消費電力	30 W	
寸法	138.5 (W) x 47.5 (D) x 89.5 (H) cm (譜面台を倒した状態)	
重量	55 kg	
同梱品	本体 / スタンド / 木製高低自在椅子 / 電源コード / 取扱説明書 (本書) / ヘッドホン / ヘッドホンフック / スタンド組立図 / 保証書 / カワイデジタルピアノ ユーザー登録のご案内 / クラシカルピアノコレクション (楽譜集)	

# MIDIエクスクルーシブデータ一覧

1st バイト	2nd バイト	3rd バイト	4th バイト	5th バイト	6th バイト	7th バイト	8th バイト	9th バイト	10th バイト
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

バイト	ID	説明
1	F0	エクスクルーシブ・ステータス
2	40	KAWAI ID ナンバー
3	00-0F	MIDI チャンネル
4	10, 30	ファンクションナンバー (30: マルチティンバーオン/オフ)
5	04	電子ピアノ ID
6	02	CA/CN モデル ID
7	データ 1	下表参照
8	データ 2	
9	データ 3	
10	F7	エンド・オブ・エクスクルーシブ

データ 1	データ 2	データ 3	機能
00	00	-	マルチティンバーオフ
01	00	-	マルチティンバーオン 1
02	00	-	マルチティンバーオン 2
0F	00-7F	-	スプリットポイント
14	00-7F	-	デュアル/スプリットバランス
16	1F-60	-	チューニング 40=440Hz
17	00, 7F	-	00: プログラムチェンジオフ、7F: プログラムチェンジオン
18	00-05	-	00: ライト、01: ノーマル、02: ヘビー、03: オフ、04: ライト+、05: ヘビー+
19	00-03	-	ローオクターブシフト
20	00-7F	00-7F	デュアル、データ 2: 主音色、データ 3: レイヤー音色
21	00-7F	00-7F	スプリット、データ 2: アッパー音色、データ 3: ロワー音色
22	00-7F	00-7F	4ハンズ、データ 2: アッパー音色、データ 3: ロワー音色
25	00-08	00-0B	データ 2: 音律、データ 3: 音律の主音
26	00, 7F	00-0F	マルチティンバー、データ 2: 00 (オン)、7F (オフ)、データ 3: チャンネル

# MIDIインプリメンテーションチャート

## ◇ KAWAI [Model CN340GP] MIDIインプリメンテーションチャート

Date : June 2012 Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシックチャンネル	電源 ON 時 設定可能	1 1-16	1 1-16	
モード	電源 ON 時 メッセージ 代用	モード 3 × *****	モード 1 モード 1,3 ×	電源 ON 時オムニオン。 MIDI チャンネル設定操作によ りオムニオフ。
ノートナンバー	音域	9-120** *****	0-127 0-127	** トランスポーズ設定範囲を 含みます。
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ ○	○ ○	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチ・ベンド		×	○	
コントロールチェンジ	0,32 1 5 6,38 7 10 11 64 65 66 67 71 72 73 74 75 76 77 78 91 93 100,101	× × × × ○ × × ○(右ペダル) × ○(中ペダル) ○(左ペダル) × × × × × × × × × × ○ ○ ×	○ ○	バンクセレクト *1 モジュレーションデプス ポルタメントタイム データエントリー ボリューム パンポット エクスプレッション ダンパー ポルタメント ソステヌート ソフトペダル フィルターレゾナンス リリースタイム アタックタイム ブライトネス ディケイタイム ビブラートレイト ビブラートデプス ビブラートディレイ リバーブセンドレベル コーラスセンドレベル RPN の LSB/MSB
プログラムチェンジ	設定可能範囲	○ 0-127 *****	○	*1
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントローラー ローカル ON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × × × × ×	○ (120) ○ (121) ○ ○ (123-127) ○ ×	
備考		*1 プログラムチェンジ対応表参照		

モード 1 : オムニオン、ポリ  
モード 3 : オムニオフ、ポリ

モード 2 : オムニオン、モノ  
モード 4 : オムニオフ、モノ

○ : あり  
× : なし

## ◇アフターサービスのご案内◇

ご使用中、万一故障等異常が発生した場合は、お買上げ店、あるいはお納めした担当員、またはお近くの弊社フィールドサポート担当へご連絡ください。

- 1) 保証期間内に万一故障が発生した場合は、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。無料修理規定により無料修理致します。
- 2) 遠隔地へ転居されても、新しいご住居の近くのカワイが引続き責任をもってアフターサービスを担当させていただきます。  
引越しの際の楽器運送について、あるいは転居後のアフターサービスについてなど、何なりとお近くのカワイにご相談ください。

### フィールドサポート担当所在地

受付

本社コールセンター

月～金曜日 8:00～17:00

その他フィールドサポート担当

火～土曜日 9:00～17:00

※下記は技術者駐在先名称です。

本社コールセンター	〒430-8665	浜松市中区寺島町200番地	☎(053)457-1295
フィールドサポート北海道地区担当	〒060-0052	札幌市中央区南2条東2丁目16番地	☎(011)231-8675
フィールドサポート仙台地区担当	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-3-28	☎(022)223-3181
盛岡	〒020-0021	盛岡市中央通1-11-15 村上第2ビル7F	☎(019)651-6627
秋田	〒010-0001	秋田市中通2-1-32	☎(018)834-2137
フィールドサポート東京地区担当	〒151-0053	東京都渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル	☎(03)3379-3374
宇都宮	〒321-0904	宇都宮市陽東6-4-20	☎(028)663-3211
前橋	〒371-0023	前橋市本町2-10-1	☎(027)243-1331
神奈川	〒246-0001	横浜市瀬谷区卸本町9279-66	☎(045)921-7001
フィールドサポート名古屋地区担当	〒465-0008	名古屋市長区猪子石原3-502	☎(052)779-1679
富山	〒930-0083	富山市総曲輪3-5-11	☎(0764)23-8986
フィールドサポート大阪地区担当	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-3-9 静岡県産業ビル	☎(06)6262-5090
広島	〒738-0034	廿日市市内宮内1-3-3	☎(0829)39-0501
四国	〒790-0001	愛媛県松山市一番町1丁目11-5	☎(089)947-1213
フィールドサポート九州地区担当	〒813-0023	福岡県東区蒲田2-37-8 日西物流福岡営業所2F	☎(092)663-2562

### カワイ独自のサービスシステム

QSS(クイック・サービス・ステーション)で  
アフターサービスも完ぺき。



カワイQSSは、お客様の要望に敏速・誠実にお応えするカワイ独自のサービス機関です。全国のカワイショップやお納めした担当員を窓口として、全国体制でサービスを行っています。楽器の修理・調整・調律のご相談など何でもお電話1本でお応えいたします。

### カワイQSS所在地

カワイでは、アフターサービスについては万全を期しておりますが、万一、至らぬ点やお気づきのことなどございましたら下記の(株)河合楽器製作所支社内QSS支部、または本社QSS本部へご連絡ください。

QSS本部	〒430-8665	静岡県浜松市中区寺島町200番地	☎(053)457-1311
関東支社	〒151-0053	東京都渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル	☎(03)3379-2221
中部支社	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内3-5-33 名古屋有楽ビル8F	☎(052)957-3911
関西支社	〒541-0051	大阪府大阪市中央区備後町3-3-9 静岡県産業ビル	☎(06)6262-2131

# 株式会社 河合楽器製作所

## 電子楽器事業部

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

<http://www.kawai.co.jp/>

### ■ お問い合わせ先について

---

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

#### ◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. [customer@kawai.co.jp](mailto:customer@kawai.co.jp)

電話受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。)

#### ◆お客様サポート・お問合せフォーム

<http://www.kawai.co.jp/>の「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。